



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究－2007年度(平成19年度)版－

Ⅲ. 生物系編

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for Scientific Research — 2007 Fiscal Year —

III. Biosciences

野村浩康、光田好孝、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Hiroyasu NOMURA, Yoshitaka MITSUDA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2009-010J

Apr. 2009

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2007年度(平成19年度)版－
Ⅲ. 生物系編

野村浩康**, 光田好孝*, 前田正史*, 前橋 至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2007 Fiscal Year –
III. Biosciences

Hiroyasu NOMURA**, Yoshitaka MITSUDA*,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the third report for 2007 fiscal year's version, on the research field of biosciences. The total number of adoption subjects of research projects at 2007 has been summed up for each university and institute on individual research field and compared to those of 2006 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別課題研究費編：生物系

1. 概要	11
2. 分野別	20
2-1 生物学	20
2-2 農学	25
2-3 医歯薬学	37

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、わが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関などに所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度であり、この制度がわが国の大学の基礎研究を支えてきたといっても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、最近ではその伸び率が小さくなってきたものの、図1-1に示すように毎年予算増が図られ、2008年度（平成20年度）には1,932億円に達し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に調査・分析することは重要である。

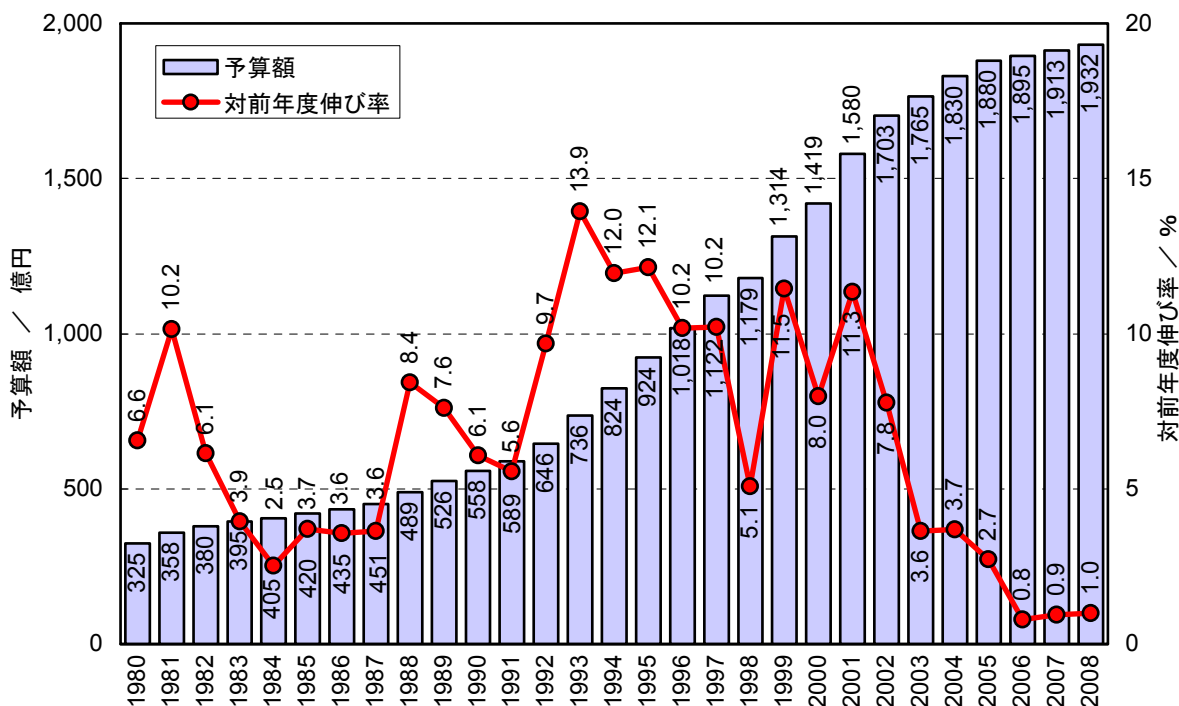


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

近年、いろいろな機関が大学などの評価、順位づけを行っているが、評価における観点として、個人および機関評価の資料として用いるデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味からも科学研究費補助金の採択研究課題名および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所のwebサイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもがみることができると、最も公開が進んでいる資料で

ある。

科学研究費補助金のように、公開データから採択研究課題数を大学別に整理することにより順位づけを行う場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS (Research Active Staff) の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、わが国の研究者への研究費の配分について、機関配分よりも競争的な個人配分の割合が大きくなる傾向が強くなるのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活力度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」(以下「細目表」という)である。この「細目表」は基盤研究などの研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部・学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部・学科などの大学の組織の人数などを短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく、実施しようとする研究計画の内容を考え、適切な「細目」を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならぬ。このような考えを受けて、2003 年度に大幅な「細目表」の改訂が行われている。一方、「細目表」の改訂が一段落した 2006 年度から、若手研究(スタートアップ)が始まり、特別研究促進費が従来の大型研究から大きくその性格を変えている。このほか、2007 年度からは若手研究(S)が始まり、さらに 2008 年度からは大型研究が従来とは大きく変化し「新学術領域研究」という新しい研究種目が導入されるように、少しずつ制度の内容が変わってきている。

2003 年度(平成 15 年度)の科学研究費補助金の「細目表」の大改訂を考慮し、1998 年度(平成 10 年度)から 2002 年度(平成 14 年度)の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、わが国の大学・研究機関の研究活力度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活力度の調査研究 —」として出版した。以来、2003 年度から毎年、科学研究費補助金の全ての分野にわたり調査・分析した結果をその都度、web 上または出版物として報告してきた。この間、2004 年度(平成 16 年度)には国立大学の法人化など大学をめぐる研究・教育環境は大きく変化してきた。

本調査報告は、同様の調査研究の 2007 年度(平成 19 年度)版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2006 年度版までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2006 年度版と同様に、個別課題研究費(基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費)と大型研究費(特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費)とその他(奨励研究、特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費)にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。2006 年度から特別研究促進費の性格が変わり、2007 年度にも若干の変更があったが、これまでの調査研究との整合性から、特別研究促進費は大型研究費の中で議論する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名などについては、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要などについては、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数などを機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、基本的に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いており、「KAKEN」データでは直接経費のみであるため、各採択研究課題の配分額は直接経費のみの額である。また、予算額などの「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いており、予算額は基本的には間接経費を含んだ額となっている。

なお、「KAKEN」には基本的に年度当初の採択研究課題に加え、年度途中の追加採択研究課題も含まれているが、本調査研究用にデータを取得した段階では、2007年度基盤研究（C）については追加採択研究課題が反映されていなかった。一方、2007年度に関しては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に「補遺版」が発行され、通常とは異なる時期に採択が行われた若手研究（S）の採択研究課題や追加採択の状況が掲載されている。

3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況

2007年度の総予算額は、図1-1に示したように、前年度より18億円増、0.9%増えて1,913億円である。伸び率はきわめて小さいが、緊縮財政状況の中でプラスの伸び率であることをよとする状況である。2005年度から2007年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。1999年度から科学研究費補助金の取り扱いが基本的に機関経理に変更され、2001年度から科学研究費補助金に間接経費が付けられるようになった。当初は特別推進研究、基盤研究（S）など配分額が大きい研究種目に限られていたが、順次拡大され、2007年度からは基盤研究（B）、（C）にも間接経費が配分されるようになった。したがって表1-1では2005年度から2007年度の予算額を間接経費の配分状況がわかるように、間接経費を内数とした総予算額と間接経費を並列に示した。前述のように、2007年度は前年度に比べ予算額は18億円増加しているが、機関補助である間接経費を引いた実質研究費（直接経費）の予算額は、前年度に比べ約134億円、7.7%減となっている。

これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費他として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。図1-2では直接経費の予算状況をみるために、予算額から間接経費を除いた金額で提示した。

2005年度、2006年度に比べて、2007年度は項目別予算額（直接経費）の内訳が大きく変化してい

る。前年度と比較すると個別課題研究費の割合が 59.1%から 66.1%に拡大し、大型研究費の割合が 34.1%から 28.1%に縮小しているのが特徴である。特別研究員奨励費、研究成果公開促進費などの割合はほとんど変化していない。先にも述べたように、2007年度は間接経費の措置される研究種目が増えたために実質研究費（直接経費）の予算額が減ったが、直接経費の予算額を前年度と比較すると、個別課題研究費は 32 億円強、対前年度比 3.1%増加し、その代わり大型研究費が 140 億円強、24.0%減少している。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目	2005年度		2006年度		2007年度		
	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	13,600	3,138	13,700	3,161	8,255	1,905
	(2) 特定領域研究	40,291	—	40,291	—	31,480	—
	(3) 基盤研究(S)	10,600	2,446	10,600	2,446	10,600	2,446
	(4) 基盤研究(A)	20,640	4,760	20,640	4,760	21,970	5,070
	(5) 基盤研究(B)	34,110	—	34,110	—	44,343	10,233
	(6) 基盤研究(C)	19,870	—	19,870	—	26,026	6,006
	(7) 萌芽研究	5,250	—	5,250	—	5,508	—
	(8) 若手研究(S)	—	—	—	—	1,300	300
	(9) 若手研究(A)	5,900	1,361	6,150	1,419	6,150	1,419
	(10) 若手研究(B)	14,600	—	14,600	—	14,600	—
	(11) 若手研究 (スタートアップ)	—	—	1,000	—	1,800	—
	(12) 奨励研究	600	—	600	—	500	—
	(13) 特別研究促進費	250	—	400	—	250	—
	小 計	165,711	11,705	167,211	11,786	172,782	27,379
2 研究成果 公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	—	884	—	583	—
	(2) 学術図書	685	—	685	—	412	—
	(3) デー タベ ー ス	1,416	—	1,416	—	645	—
	(4) 研究成果公開発表	397	—	397	—	160	—
	小 計	3,382	—	3,382	—	1,800	—
3 特定奨励費	770	—	770	—	700	—	
4 特別研究員奨励費	6,170	—	6,070	—	5,353	—	
5 学術創成研究費	11,050	2,550	11,050	2,550	9,515	2,196	
6 審査・評価・分析経費	917	—	1,017	—	1,150	—	
合 計	188,000	14,255	189,500	14,336	191,300	29,575	

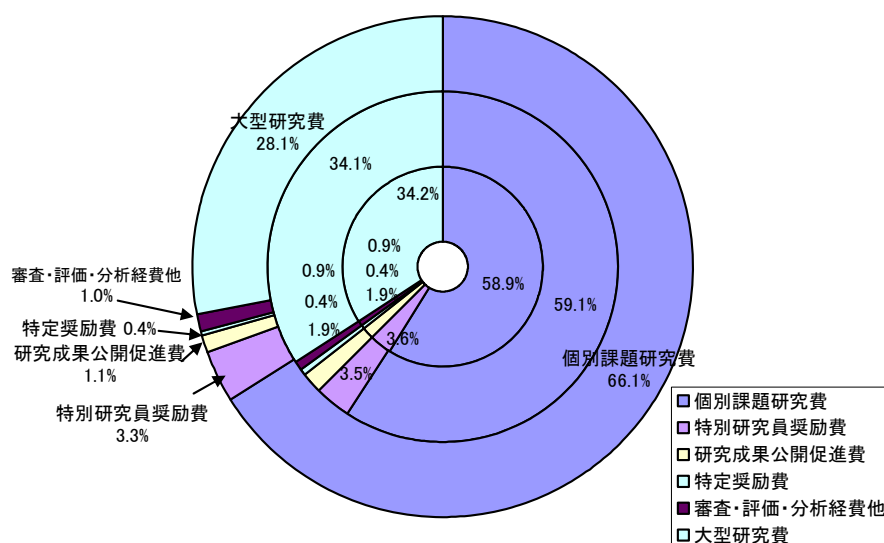


図 1-2 2005 年度(内周)、2006 年度(中間周)、2007 年度(外周)の
科学研究費補助金（直接経費）の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2007 年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみよう。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表 1-2 に示す。特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費の配分額の総額は前年度より 1.3% 増加し、採択研究課題数も 1,858 件、対前年度比にして 4.3% 増えている。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の 2007 年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図 1-3 に示す。前年度と比較して、個別課題研究費の総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数も伸びているが、個別課題研究費の総採択研究課題数に占める各「系」の割合は、総合・新領域系が 17.6%、人文社会系は 19.0% と前年度に比べてそれぞれ 0.2%、1.0% 大きくなっているのに対し、理工系は 25.3% から 24.4% と 0.9% 小さくなり、生物系も 39.2% から 39.0% と 0.2% 小さくなっている。人文社会系の割合が大きくなっているのに対し、理工系の割合が小さくなっている。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2007 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
基盤研究 (S)	件数	37	44	13	9	44	27	71	29	20	50	0	344
	配分額	619	753	201	135	725	473	1,185	508	336	879	0	5,814
基盤研究 (A)	件数	196	200	137	161	198	85	333	77	134	210	0	1,731
	配分額	1,888	1,887	1,005	1,305	1,874	931	3,554	819	1,199	2,320	0	16,782
基盤研究 (B)	件数	923	569	573	755	587	309	1,249	317	668	1,648	0	7,598
	配分額	3,958	2,566	1,934	2,604	2,443	1,584	6,032	1,556	2,999	8,336	0	34,011
基盤研究 (C)	件数	1,964	622	1,801	2,068	1,336	450	1,859	486	822	5,505	283	17,196
	配分額	2,487	821	1,697	2,090	1,465	701	2,544	755	1,159	8,007	369	22,094
萌芽研究	件数	555	226	192	293	224	169	520	159	281	1,260	0	3,879
	配分額	746	340	180	302	275	285	816	249	421	1,891	0	5,506
若手研究 (S)	件数	4	3	2	2	3	4	5	2	2	8	0	35
	配分額	76	82	11	23	81	70	64	23	21	148	0	600
若手研究 (A)	件数	130	82	11	22	79	67	197	56	50	135	0	829
	配分額	724	463	38	88	438	409	1,216	344	285	826	0	4,831
若手研究 (B)	件数	1,588	519	654	1,439	900	426	1,432	489	589	3,772	0	11,808
	配分額	1,945	659	562	1,298	995	629	1,934	722	784	5,188	0	14,716
若手研究(スタートアップ)	件数	162	73	119	234	106	61	186	75	85	523	0	1,624
	配分額	196	89	126	241	131	80	230	99	112	652	0	1,956
分野別合計	件数	5,559	2,338	3,502	4,983	3,477	1,598	5,852	1,690	2,651	13,111	283	45,044
	配分額	12,639	7,662	5,755	8,084	8,427	5,162	17,574	5,076	7,317	28,246	369	106,310
特別研究員奨励費	件数	5,553											5,553
	配分額	5,245											5,245

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

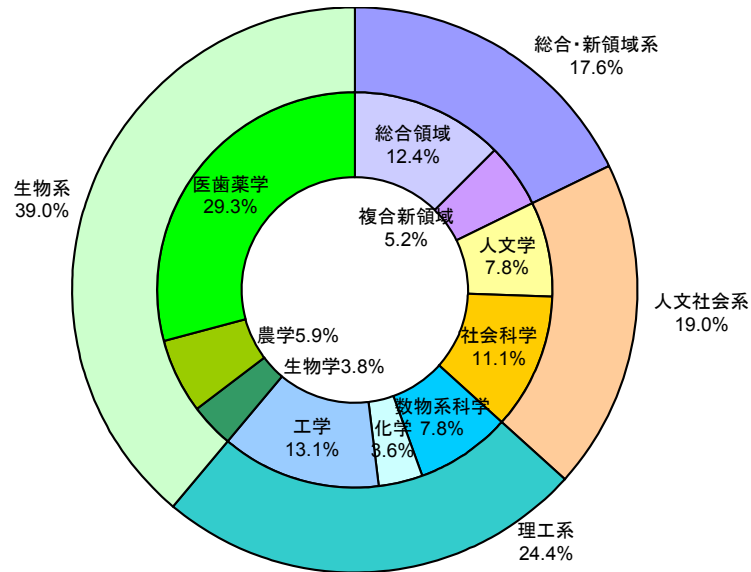


図 1-3 2007 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

次に、2007 年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみよう。2007 年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数上位 50 位を表 1-3 に、その棒グラフを図 1-4 に示す。

このような採択研究課題数による順位づけでは研究機関の規模が大きく反映されるほか、医学系の学部・研究科を持つ大学が比較的上位に現れやすい傾向がある。前年度と比較すると、1 位の東京大学から 11 位の神戸大学まで旧帝国大学、旧文理大学などが続き、その順位に変動はない。上位で特徴的なことは岡山大学と慶應義塾大学が順位を入れ替えているほか、理化学研究所が 16 位から 14 位に上昇していることである。中位グループでは群馬大学が 26 位から 24 位に上昇し、山口大学が 24 位から 26 位に後退している程度で、その他はおおむね±1 の変化に留まっている。40 位以降では、東京理科大学が同数 50 位から 43 位に上昇し、日本原子力研究開発機構が同数 48 位と上位 50 位入りを果たし、福井大学は 45 位から同数 48 位に、鳥取大学が 42 位から同数 48 位に後退し、奈良先端科学技術大学院大学、宮崎大学、佐賀大学が上位 50 位から姿を消している。

表1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	2,899	17,818,660	2,860
2	国	京都大学	2,362	11,936,750	2,310
3	国	東北大学	2,001	8,651,550	1,890
4	国	大阪大学	1,926	8,891,240	1,794
5	国	九州大学	1,489	5,116,740	1,466
6	国	北海道大学	1,432	5,011,528	1,456
7	国	名古屋大学	1,312	5,604,770	1,256
8	国	筑波大学	969	2,854,530	944
9	国	広島大学	855	2,263,450	837
10	国	東京工業大学	787	4,242,430	790
11	国	神戸大学	757	2,433,760	762
12	私	慶應義塾大学	668	1,996,116	622
13	国	岡山大学	623	1,625,470	644
14	他	理化学研究所	600	2,813,940	553
15	国	千葉大学	588	1,574,710	593
16	私	早稲田大学	566	1,593,181	576
17	国	金沢大学	552	1,246,450	501
18	国	熊本大学	431	1,197,600	408
19	国	東京医科歯科大学	424	1,649,710	407
20	国	新潟大学	414	975,000	458
21	国	長崎大学	401	993,480	390
22	国	徳島大学	381	975,430	402
22	私	日本大学	381	671,991	347
24	国	群馬大学	355	848,350	333
25	公	大阪市立大学	336	848,520	335
26	国	山口大学	323	628,160	340
27	国	鹿児島大学	321	715,170	305
28	国	信州大学	320	857,380	316
29	公	大阪府立大学	317	738,930	296
30	公	首都大学東京	298	749,990	288
31	他	産業技術総合研究所	296	922,360	272
32	国	愛媛大学	287	689,400	270
33	国	静岡大学	275	606,810	266
34	国	岐阜大学	265	543,890	267
35	国	富山大学	261	554,007	258
36	国	三重大学	250	585,380	240
37	国	山形大学	249	446,994	247
38	私	立命館大学	242	536,160	245
39	公	名古屋市立大学	228	504,020	224
40	国	東京農工大学	227	903,060	228
41	国	横浜国立大学	219	577,560	222
42	国	琉球大学	217	354,362	211
43	私	東京理科大学	209	538,330	185
44	国	弘前大学	207	377,230	204
45	私	東海大学	204	455,000	208
46	公	横浜市立大学	203	552,520	203
46	公	京都府立医科大学	203	474,780	186
48	他	日本原子力研究開発機構	198	782,310	161
48	国	福井大学	198	380,910	205
48	国	鳥取大学	198	364,590	217
合計			49,189	152,476,133	47,484

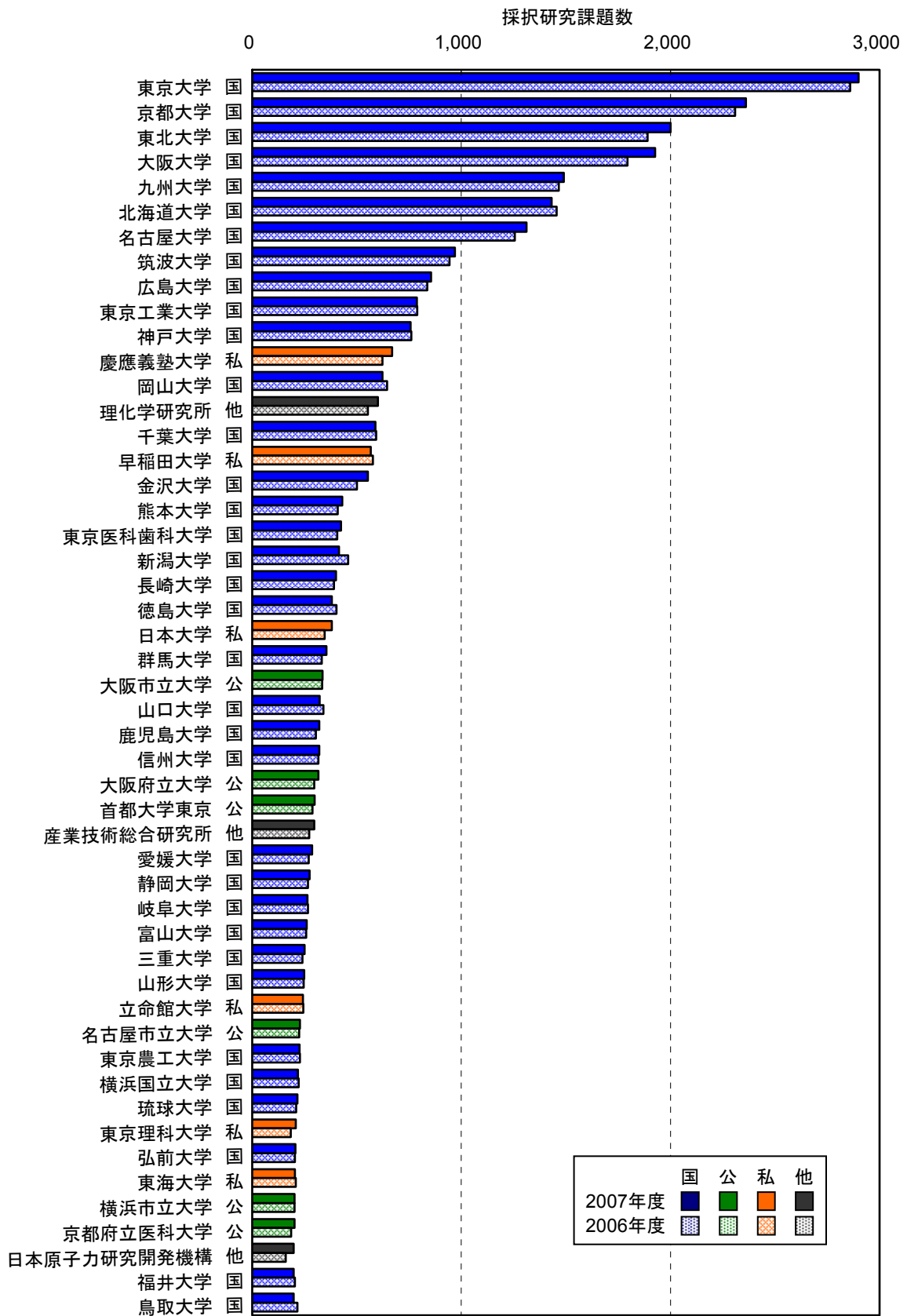


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2006年度版の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2006年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2006年度の途中から2007年度の研究課題の採択までの間に、大学などの合併や名称変更などが行われている。2006年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2007年4月1日現在における大学などの合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2007年度の科学研究費補助金の採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学など学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、単年度では調査件数が少ないことから、2007年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、2003年度から2007年度までの5年間の総集編の出版を計画しており、そこであらためて分析対象としたい。

Ⅱ. 個別課題研究費編：生物系

1 概要

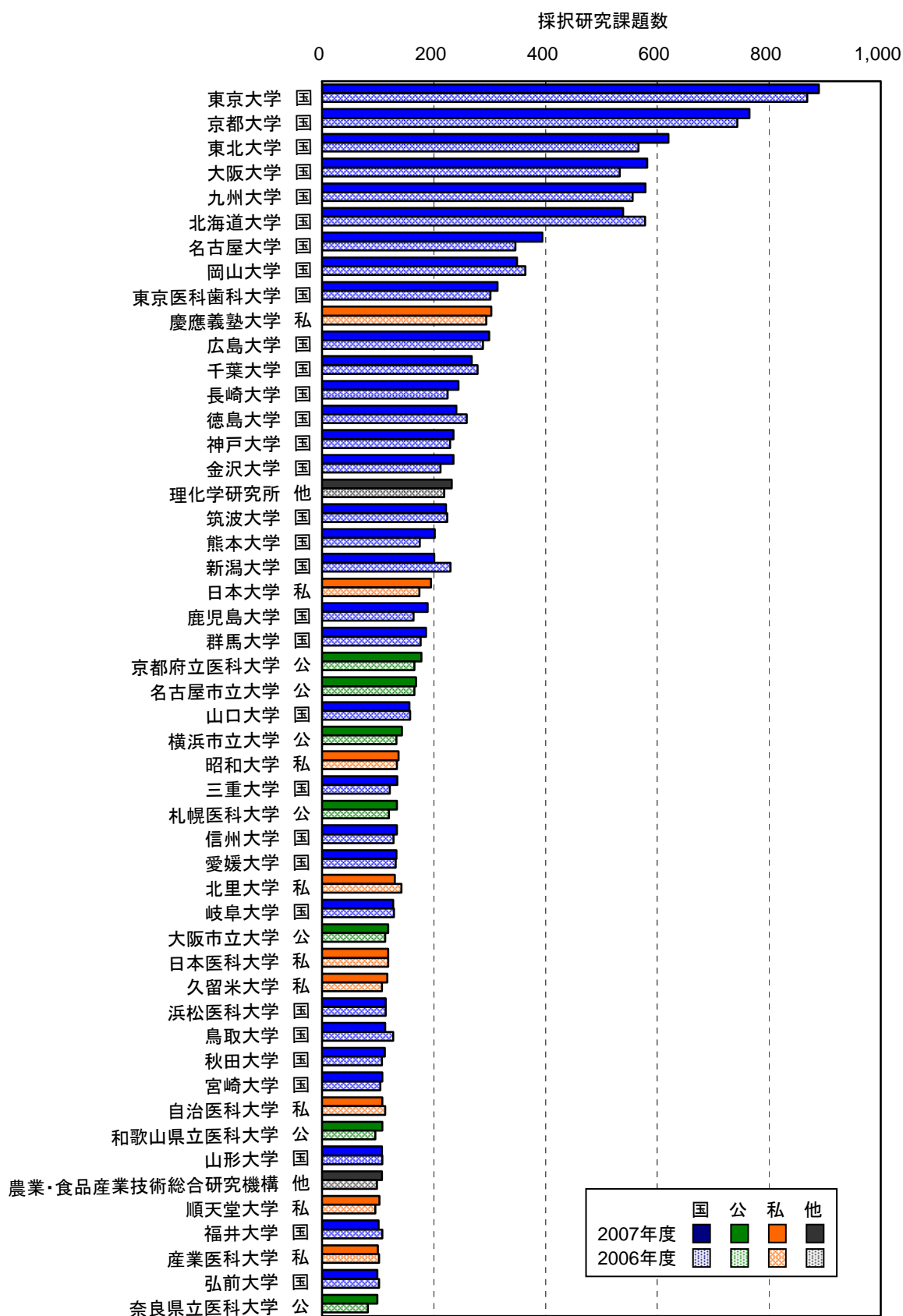
2007 年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経年変化による採択動向をみることにする。生物系全体での機関別採択研究課題数上位 50 位を表 2-1 に、その棒グラフを図 2-1 に示す。表から明らかなように、前年度と比較すると、生物系全体として採択研究課題数が対前年度比 3.8% 増えていることがわかり、人文社会系の伸び率 9.6% には及ばないものの、理工系の伸び率 0.5% より大きい。

東京大学をはじめとする旧帝国大学が上位を占めることに変わりはないが、北海道大学が 3 位から 6 位に後退し、名古屋大学が岡山大学を抜いて旧 7 帝国大学の末尾に上がっている。その他、長崎大学、金沢大学、熊本大学、鹿児島大学、横浜市立大学、三重大学、札幌医科大学などが順位を上げているのに対し、新潟大学が 14 位から 20 位に順位を下げたほか、北里大学、鳥取大学も大きく順位を下げている。その他の機関は採択研究課題数、順位ともそれほど大きな変化はないが、富山大学、東京慈恵会医科大学、佐賀大学が上位 50 位からはずれ、奈良県立医科大学が新しく上位 50 位に入っている。分野：医歯薬学が生物系の約 4 分の 3 を占めるために、系全体としては機関別の特徴が現れにくく、大規模総合大学が上位を占め、中位以降に公立、私立の医科単科大学が数多く顔を出す形となっている。

表 2 - 1 生物系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	889	3,352,540	868
2	国	京都大学	765	2,514,130	743
3	国	東北大学	620	1,635,810	566
4	国	大阪大学	582	1,817,120	533
5	国	九州大学	579	1,733,970	556
6	国	北海道大学	539	1,635,730	578
7	国	名古屋大学	394	1,223,460	346
8	国	岡山大学	349	721,740	364
9	国	東京医科歯科大学	314	806,130	301
10	私	慶應義塾大学	303	678,310	294
11	国	広島大学	299	710,910	288
12	国	千葉大学	268	630,440	278
13	国	長崎大学	244	596,230	225
14	国	徳島大学	240	542,730	259
15	国	神戸大学	235	521,960	229
15	国	金沢大学	235	517,230	212
17	他	理化学研究所	232	630,510	219
18	国	筑波大学	222	581,270	224
19	国	熊本大学	202	461,570	175
20	国	新潟大学	201	413,830	230
21	私	日本大学	195	346,491	174
22	国	鹿児島大学	189	435,950	164
23	国	群馬大学	186	348,590	176
24	公	京都府立医科大学	178	352,810	165
25	公	名古屋市立大学	168	325,200	165
26	国	山口大学	156	341,390	158
27	公	横浜市立大学	143	290,200	133
28	私	昭和大学	137	234,890	134
29	国	三重大学	135	294,800	121
30	公	札幌医科大学	134	338,520	120
30	国	信州大学	134	253,380	128
32	国	愛媛大学	133	290,480	132
33	私	北里大学	130	215,660	142
34	国	岐阜大学	127	237,740	129
35	公	大阪市立大学	118	252,510	113
35	私	日本医科大学	118	169,300	118
37	私	久留米大学	117	181,100	107
38	国	浜松医科大学	114	220,850	114
39	国	鳥取大学	113	202,430	127
40	国	秋田大学	112	212,254	107
41	国	宮崎大学	108	204,610	104
41	私	自治医科大学	108	192,470	113
41	公	和歌山県立医科大学	108	172,010	95
44	国	山形大学	107	185,914	108
44	他	農業・食品産業技術総合研究機構	107	184,670	98
46	私	順天堂大学	103	184,470	95
47	国	福井大学	101	201,110	108
48	私	産業医科大学	100	161,830	102
49	国	弘前大学	99	199,800	102
49	公	奈良県立医科大学	99	188,290	82
合計			17,452	40,638,990	16,814



この生物系を「分野」別に分けてみると、図2-2に示すように、採択研究課題数の割合は分野：生物学で9.7%、農学で15.2%、医歯薬学で75.1%と分野：農学が0.1%小さくなり、分野：医歯薬学がその分大きくなっているが、「分野」別の割合は前年度からほとんど変化していない。「分野」別に採択研究課題数を前年度と比較すると、分野：生物学の伸び率が3.2%、分野：農学が3.3%とほぼ同様の伸びを示し、分野：医歯薬学が4.0%とやや伸びが大きい。

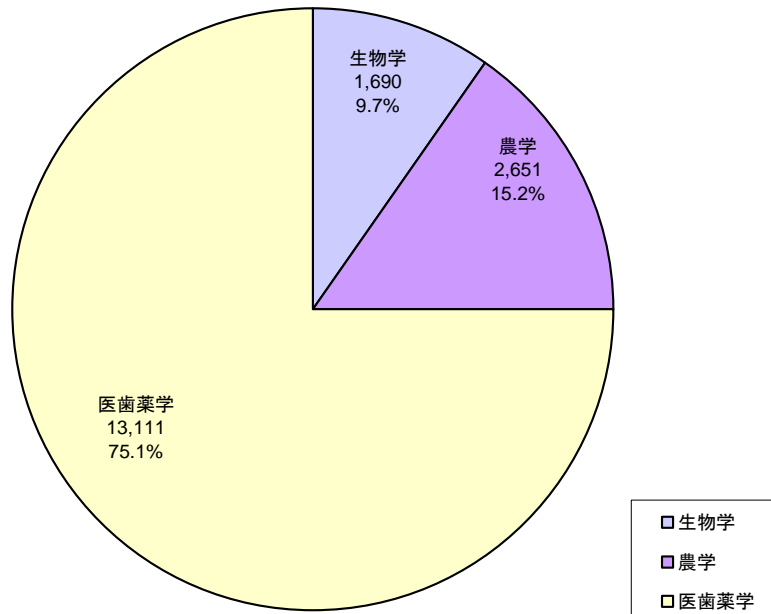


図2-2 2007年度の生物系「分野」別採択研究課題数

分野：生物学、農学、医歯薬学での採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2～2-3に、棒グラフを図2-3～2-5にそれぞれ示す。生物学、農学、医歯薬学ともに前年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の「分野」の特徴も現れている。

分野：生物学では、理化学研究所、基礎生物学研究所などが採択研究課題数を伸ばし順位を上げているが、同じ研究所でも国立遺伝学研究所などは順位を下げている。

分野：農学では、日本大学が17位から同数9位に、大阪府立大学が19位から同数12位に、三重大学が29位から同数20位に大きく上昇し、宮崎大学、宇都宮大学なども順位を上げているが、岐阜大学が同数15位から19位に、帯広畜産大学が同数17位から24位に、東京農業大学が同数21位から同数25位に順位を下げている。

分野：医歯薬学では、上位グループでは東京医科歯科大学が8位から6位に、名古屋大学が採択研究課題数を205件から236件に大きく伸ばして14位から10位に躍進している。熊本大学も採択研究課題数を23件伸ばして20位から16位に上昇している。下位グループでは和歌山県立医科大学が43位から33位に躍進している一方、東京慈恵会医科大学が同数39位から同数48位に順位を下げている。

表2-2 生物系「分野」別採択研究課題数上位50位(2007年度)(1)

金額単位/千円

生物学					農学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	153	730,270	143	1	国	東京大学	230	967,340	238
2	国	京都大学	113	462,090	119	2	国	京都大学	206	632,380	200
3	他	理化学研究所	99	235,340	86	3	国	北海道大学	156	576,470	176
4	国	北海道大学	90	281,760	95	4	他	農業・食品産業技術総合研究機構	107	184,670	98
5	国	大阪大学	83	323,670	81	5	国	九州大学	103	379,870	93
6	国	名古屋大学	65	217,980	62	6	国	名古屋大学	93	410,530	79
7	国	九州大学	61	232,550	60	7	国	東北大学	91	289,970	95
8	国	東北大学	49	182,770	40	8	他	森林総合研究所	70	144,420	57
9	国	東京工業大学	47	132,010	36	9	国	東京農工大学	48	158,060	45
10	他	基礎生物学研究所	33	107,760	28	9	国	岡山大学	48	109,500	52
11	国	奈良先端科学技術大学院大学	29	93,910	27	9	私	日本大学	48	85,410	39
12	国	広島大学	28	46,870	35	12	国	筑波大学	47	175,570	45
13	国	千葉大学	25	63,400	24	12	公	大阪府立大学	47	80,270	38
13	国	筑波大学	25	44,500	28	14	国	広島大学	46	120,040	41
15	国	岡山大学	22	50,110	18	15	国	神戸大学	44	135,370	44
16	他	国立遺伝学研究所	21	103,340	27	16	国	岩手大学	43	88,520	41
16	公	大阪市立大学	21	67,400	22	17	国	鹿児島大学	41	100,800	40
18	他	産業技術総合研究所	19	44,600	16	18	他	理化学研究所	36	84,780	34
19	国	神戸大学	18	57,800	17	19	国	岐阜大学	35	81,600	40
19	公	横浜市立大学	18	56,870	16	20	国	鳥取大学	34	85,570	36
21	他	東京都医学研究機構	17	44,770	16	20	国	宮崎大学	34	75,700	32
21	公	首都大学東京	17	39,400	15	20	国	三重大学	34	64,370	26
23	他	国立科学博物館	16	48,870	18	23	他	農業生物資源研究所	33	87,140	34
23	公	兵庫県立大学	16	42,500	18	24	国	帯広畜産大学	32	81,800	39
23	国	金沢大学	16	38,800	12	25	私	東京農業大学	31	81,200	34
26	国	熊本大学	14	34,400	11	25	国	信州大学	31	60,860	25
27	国	静岡大学	13	38,000	11	27	国	宇都宮大学	30	79,700	24
28	私	早稲田大学	12	63,600	12	28	国	千葉大学	28	77,900	32
28	私	東京理科大学	12	28,300	9	29	私	北里大学	27	59,580	32
30	国	東京医科歯科大学	11	25,900	9	30	私	近畿大学	26	61,500	19
31	国	長崎大学	10	28,920	8	31	国	愛媛大学	24	76,500	25
31	他	農業生物資源研究所	10	23,200	11	31	国	山形大学	24	52,700	22
31	国	愛媛大学	10	17,800	7	33	国	東京海洋大学	23	75,840	28
31	国	奈良女子大学	10	16,800	11	33	国	高知大学	23	49,500	20
35	私	東京薬科大学	9	28,700	9	33	国	琉球大学	23	43,120	22
35	国	琉球大学	9	17,700	11	36	他	農業環境技術研究所	21	56,350	7
35	国	山口大学	9	15,900	8	36	国	新潟大学	21	48,740	22
38	国	徳島大学	8	29,900	7	36	国	山口大学	21	46,400	28
38	国	山形大学	8	21,070	9	39	国	島根大学	19	29,100	22
38	公	名古屋市立大学	8	20,800	6	40	国	静岡大学	18	52,300	21
38	国	群馬大学	8	19,460	5	40	公	京都府立大学	18	47,100	15
38	国	香川大学	8	13,670	5	42	国	茨城大学	17	34,970	21
38	私	慶應義塾大学	8	12,090	9	42	国	佐賀大学	17	28,700	20
44	私	日本女子大学	7	15,800	8	44	国	弘前大学	16	50,100	16
44	他	森林総合研究所	7	15,700	11	44	国	香川大学	16	32,400	19
44	公	大阪府立大学	7	11,500	4	46	他	水産総合研究センター	15	37,810	14
44	国	高知大学	7	11,290	4	46	国	長崎大学	15	35,600	10
44	国	信州大学	7	10,000	8	48	私	麻布大学	14	19,360	9
44	国	鹿児島大学	7	9,800	4	49	国	奈良先端科学技術大学院大学	13	69,800	9
50	国	茨城大学	6	21,900	4	49	私	明治大学	13	29,300	9
50	他	国立循環器病センター	6	20,600	5						
50	他	海洋研究開発機構	6	12,960	4						
50	国	埼玉大学	6	10,200	9						
50	国	鳥取大学	6	9,200	6						
合計			1,690	5,075,830	1,637	合計			2,651	7,316,810	2,567

表 2-3 生物系「分野」別採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度) (2)

金額単位/千円

医歯薬学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	506	1,654,930	487
2	国	大阪大学	489	1,474,130	443
3	国	東北大学	480	1,163,070	431
4	国	京都大学	446	1,419,660	424
5	国	九州大学	415	1,121,550	403
6	国	東京医科歯科大学	302	778,930	291
7	国	北海道大学	293	777,500	307
8	私	慶應義塾大学	291	660,560	283
9	国	岡山大学	279	562,130	294
10	国	名古屋大学	236	594,950	205
11	国	徳島大学	226	491,010	244
12	国	広島大学	225	544,000	212
13	国	長崎大学	219	531,710	207
14	国	千葉大学	215	489,140	222
15	国	金沢大学	212	464,030	192
16	国	熊本大学	185	421,870	162
17	国	群馬大学	177	327,730	170
18	国	新潟大学	176	359,980	201
18	公	京都府立医科大学	176	349,910	163
20	国	神戸大学	173	328,790	168
21	公	名古屋市立大学	160	304,400	159
22	国	筑波大学	150	361,200	151
23	私	日本大学	144	258,381	131
24	国	鹿児島大学	141	325,350	120
25	私	昭和大学	135	231,590	131
26	公	札幌医科大学	132	335,020	119
27	国	山口大学	126	279,090	122
28	公	横浜市立大学	120	225,830	112
29	私	日本医科大学	115	165,200	114
30	私	久留米大学	114	176,300	103
31	国	秋田大学	111	210,254	106
32	国	浜松医科大学	110	209,950	111
33	公	和歌山県立医科大学	107	169,910	94
34	私	自治医科大学	106	190,470	112
35	私	順天堂大学	103	184,470	95
36	私	産業医科大学	100	161,830	101
36	私	北里大学	100	149,880	108
38	国	愛媛大学	99	196,180	100
39	国	福井大学	98	196,210	106
40	他	理化学研究所	97	310,390	99
40	国	三重大学	97	224,930	92
40	公	奈良県立医科大学	97	185,190	82
43	私	東京女子医科大学	96	202,572	93
43	国	信州大学	96	182,520	95
45	公	大阪市立大学	95	183,010	87
46	国	富山大学	88	177,110	96
46	国	岐阜大学	88	151,600	82
48	私	岩手医科大学	83	150,630	90
48	私	東京慈恵会医科大学	83	121,500	96
50	国	弘前大学	79	144,890	82
合計			13,111	28,246,350	12,610

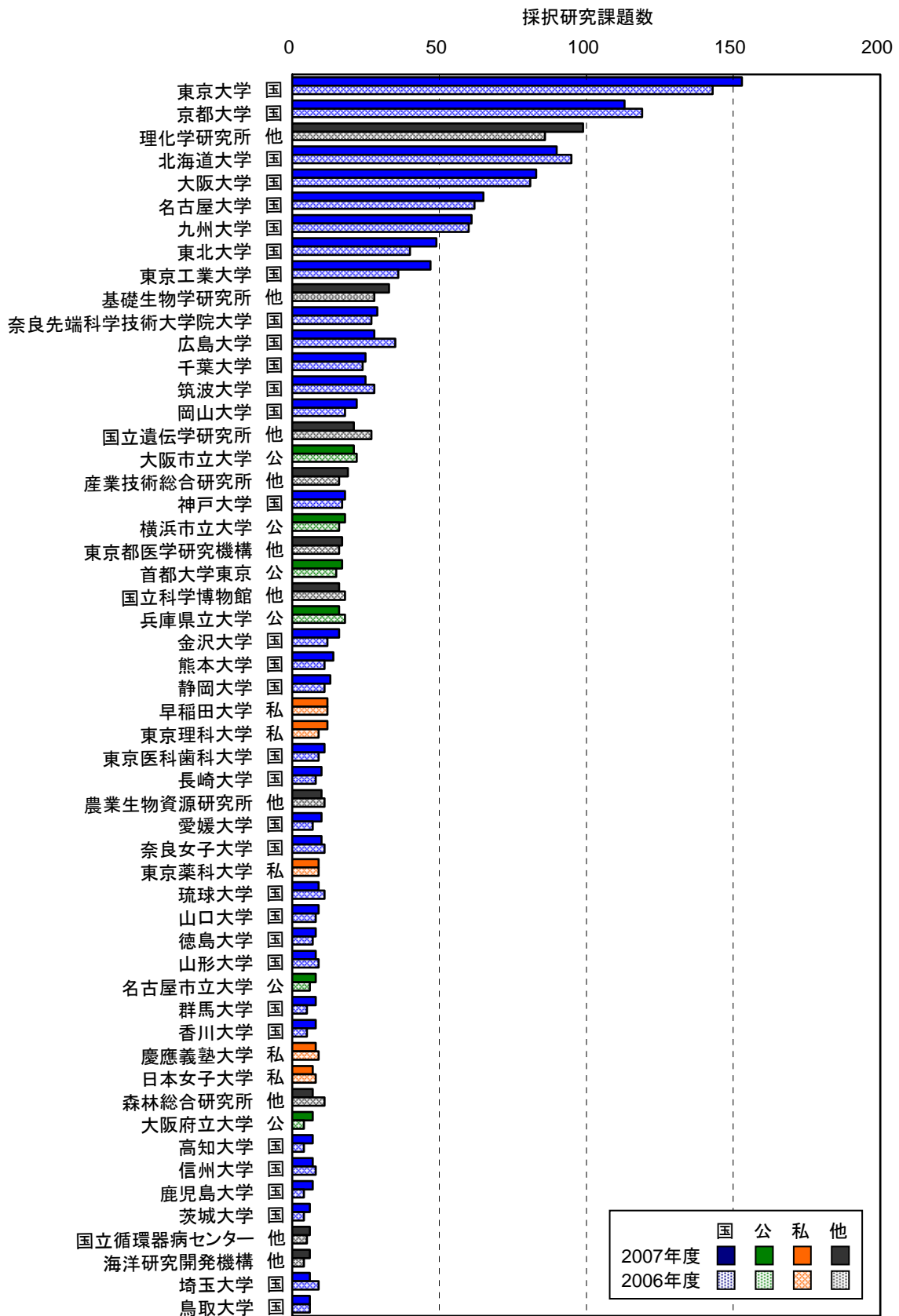
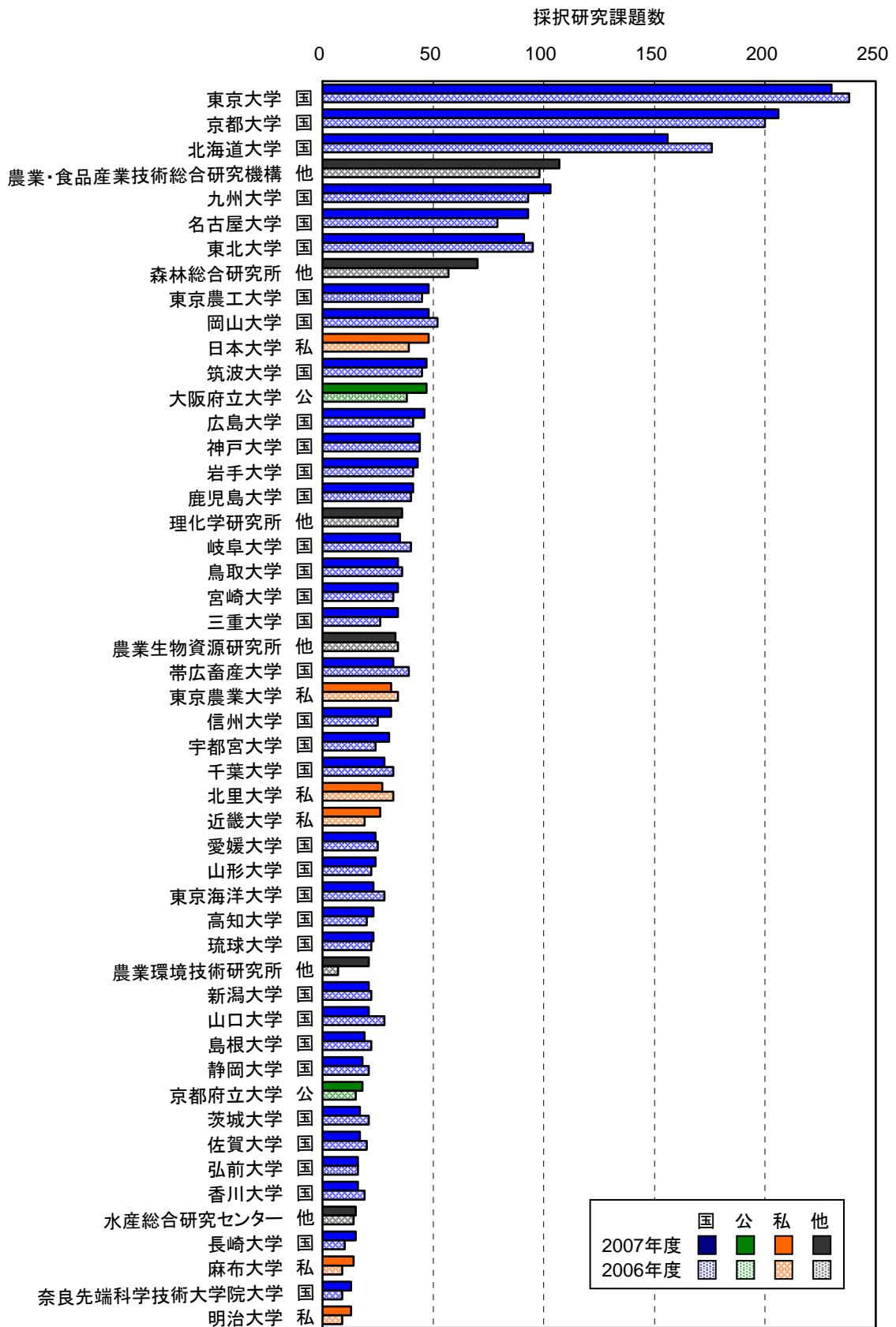


図 2 - 3 生物学 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)



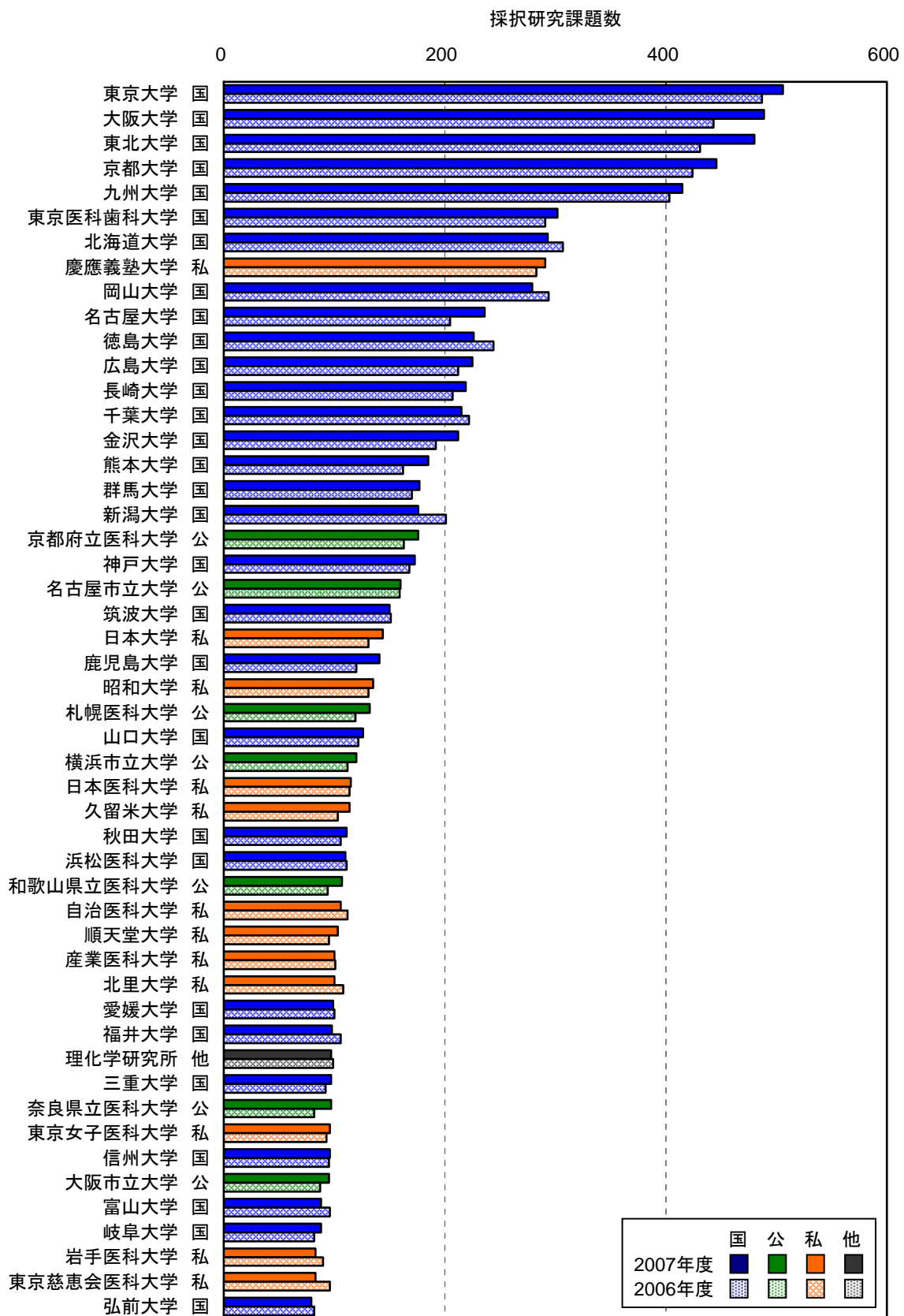


図 2 - 5 医歯薬学 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

2 分野別

2-1 生物学

分野：生物学の中の基礎生物学、生物科学、人類学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-6の円グラフに示す。図2-6から明らかなように、分科：基礎生物学、生物科学に比べて、分科：人類学の採択研究課題数は分科：基礎生物学の約7分の1、分科：生物科学の約10分の1と少なく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

前年度と比較すると、分野：生物学全体の採択研究課題数の伸び率は3.2%であるが、「分科」により採択研究課題数の増減には差があることがわかる。採択研究課題数が少ない分科：人類学では採択研究課題数が15.7%も減少している。これに対して、分科：基礎生物学では採択研究課題数を3件増やし、分科：生物科学では採択研究課題数を67件増やして伸び率は7.9%となっている。

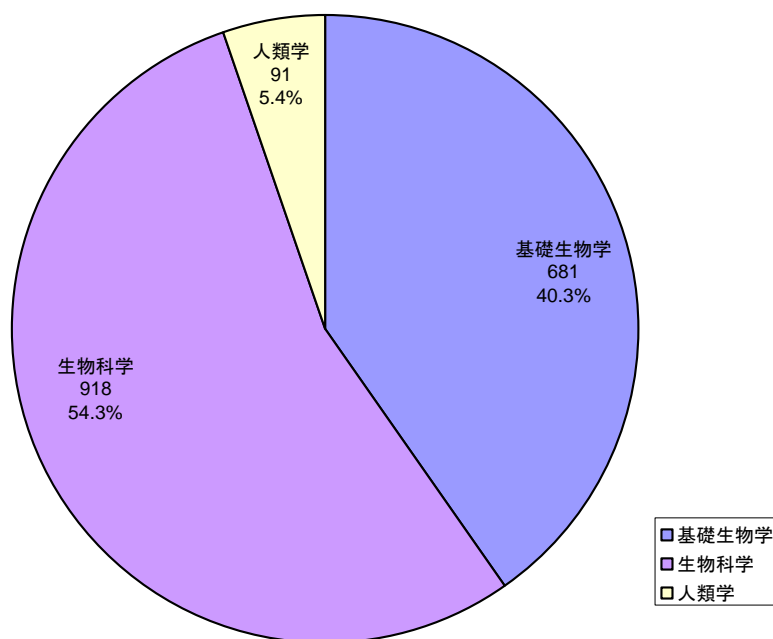


図2-6 2007年度の生物学「分科」別採択研究課題数

以下、基礎生物学、生物科学、人類学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-4～2-5に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-7～2-8に示す。分科：人類学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：基礎生物学では、東京大学が1位に、北海道大学が2位に順位を入れ替え、広島大学が4位から7位に順位を下げている。また国立科学博物館も同数9位から同数15位に順位を下げている。

分科：生物科学は、北海道大学が6位から9位に順位を下げているのが目に付く。

分科：人類学は採択研究課題数が少ないため、順位を議論することが難しい。

表 2-5 生物学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度) (2)

金額単位/千円

人類学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額	
1	国	京都大学	16	89,600	11
2	国	東京大学	6	56,900	6
3	国	九州大学	5	33,000	6
3	他	国立科学博物館	5	18,600	4
3	国	北海道大学	5	15,200	4
6	国	長崎大学	4	15,600	4
7	公	大阪市立大学	3	20,700	4
8	私	芝浦工業大学	2	13,900	3
8	国	千葉大学	2	10,500	2
8	他	森林総合研究所	2	9,400	2
8	他	日本モンキーセンター	2	9,200	2
8	国	神戸大学	2	6,900	2
8	国	琉球大学	2	5,800	2
8	私	近畿大学	2	2,300	1
8	国	佐賀大学	2	2,200	2
8	公	石川県立看護大学	2	2,100	1
8	私	日本大学	2	1,500	2
合計			91	377,800	108

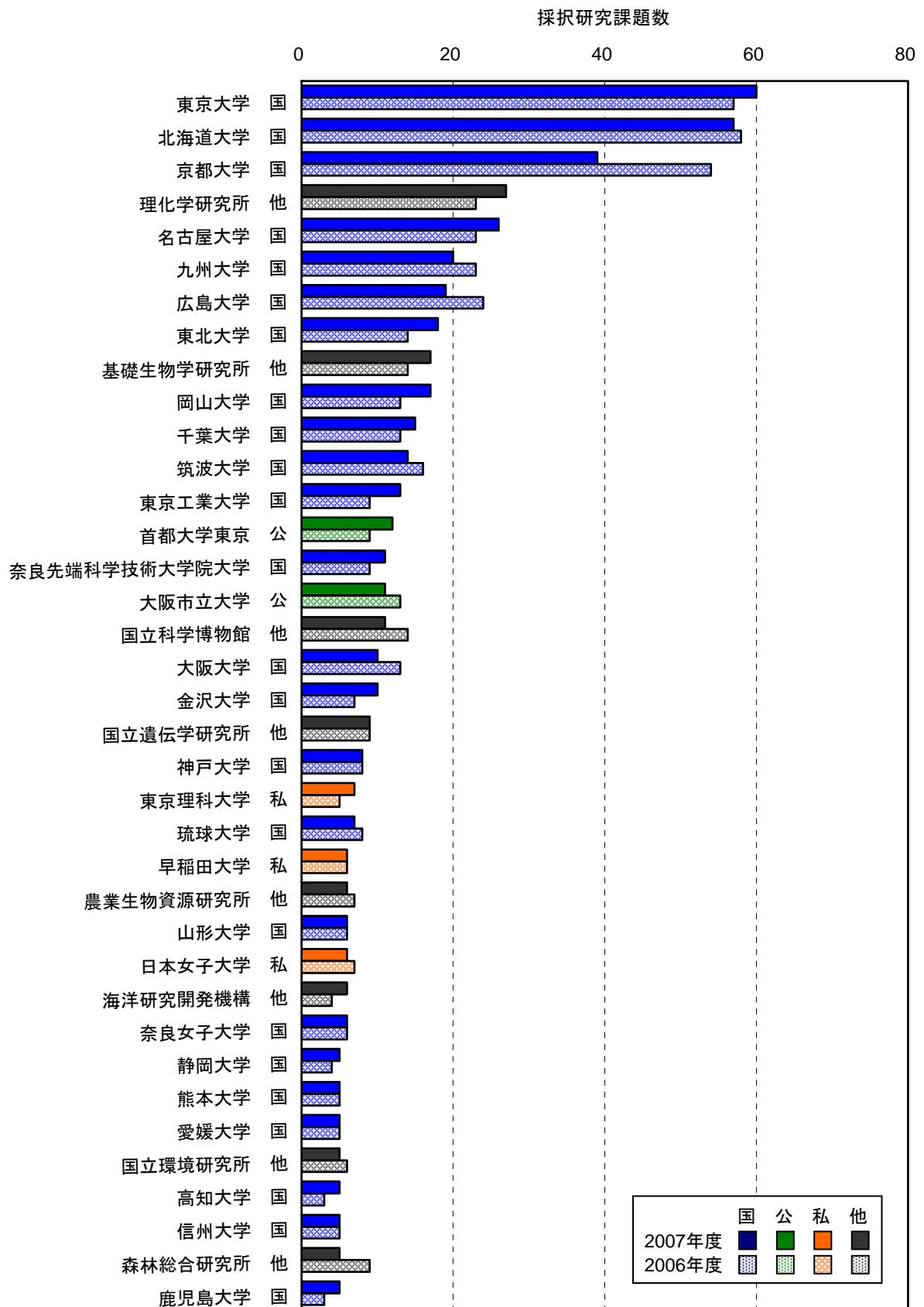
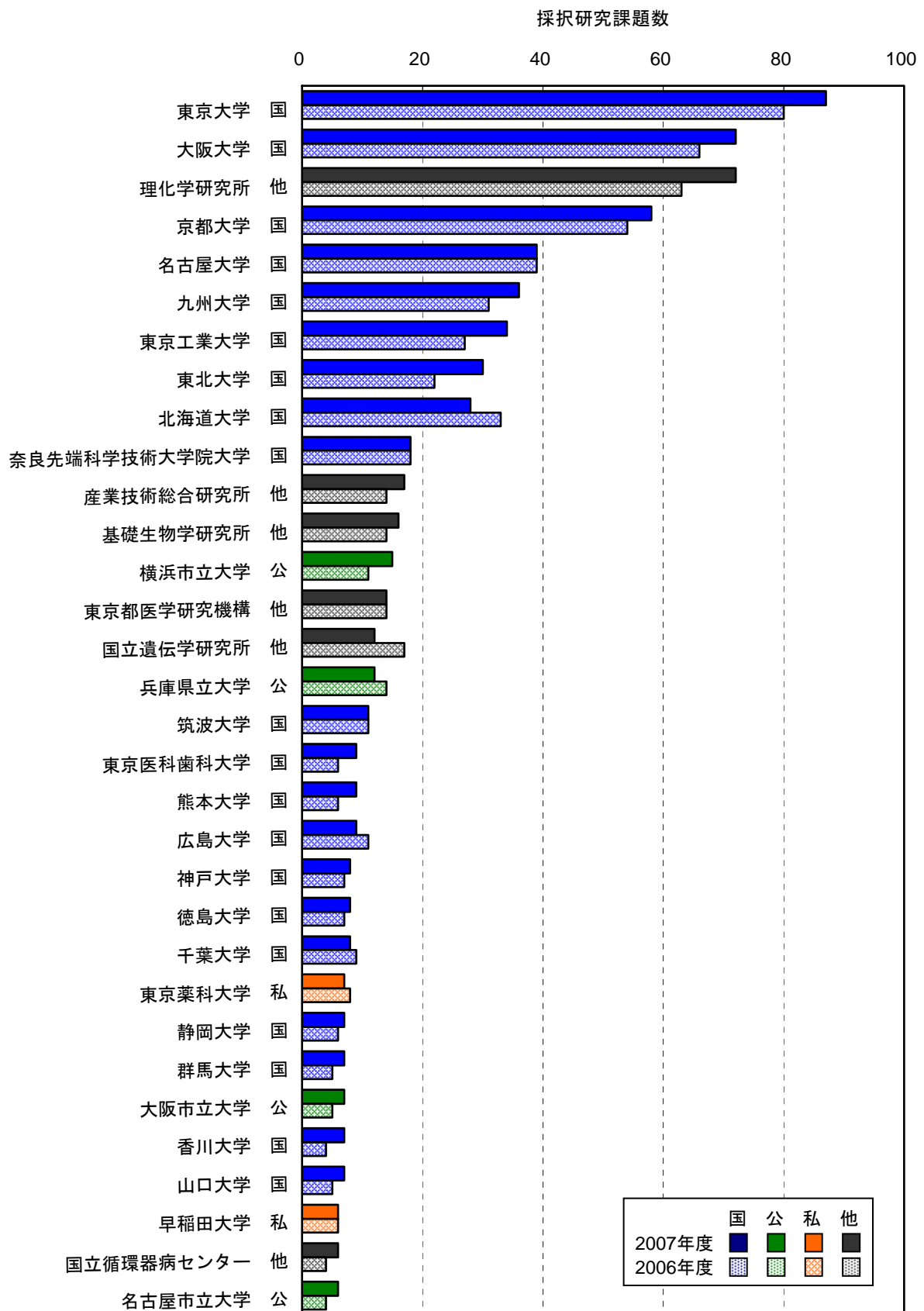


図 2 - 7 基礎生物学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)



2-2 農学

分野：農学の中の農学、農芸化学、林学、水産学、農業経済学、農業工学、畜産学・獣医学、境界農学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-9の円グラフに示す。分科：農業経済学、境界農学のように規模の比較的小さい「分科」を除くと、「分科」別の採択研究課題数にあまり大きな偏りが無い。

前年度と比較すると、最も採択研究課題数が増えたのは分科：林学の31件であり、伸び率は10.8%である。分科：農学が採択研究課題数を490件から476件に14件減らしている以外は、どの「分科」も採択研究課題数を伸ばしている。

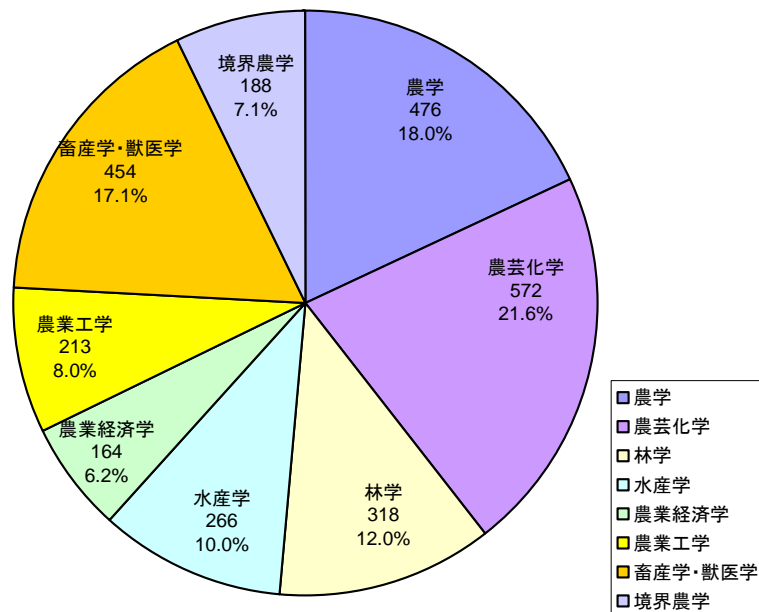


図2-9 2007年度の農学「分科」別採択研究課題数

以下、農学、農芸化学、林学、水産学、農業経済学、農業工学、畜産学・獣医学、境界農学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-6～2-9に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-10～2-15に示す。ただし、分科：農業経済学、境界農学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：農学では、農業・食品産業技術総合研究機構が、採択研究課題数を減らした東京大学、京都大学を抜いて1位に躍り出ている。一方、北海道大学が同数4位から同数8位に後退している。

分科：農芸化学では、前年度と比較して、1位東京大学、2位京都大学、3位東北大学の順位は変わらず、多少の変動はあるものの大局的には大きな変動はない。

分科：林学では、採択研究課題数を大きく伸ばした森林総合研究所が京都大学を抜き1位になっている。

分科：水産学では、上位グループで順位に多少の変動はあるものの大きな変化はみられない。

分科：畜産学・獣医学でも大幅な変化はないが、大阪府立大学が同数9位から同数4位に、鹿児島大学、岩手大学がともに同数9位から同数7位へと順位を上げている。

分科：農業経済学、農業工学、境界農学では、採択研究課題数が少ないため採択研究課題1、2件の

差で順位が上下するが、基本的に大きな変化はないといえる。ただし、分科：境界農学では東京大学が採択研究課題数を8件減らし、2位から4位に後退している。

表2-8 農学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(3)

金額単位/千円

農業経済学					農業工学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	九州大学	11	29,600	11	1	他	農業・食品産業技術総合研究機構	22	37,530	21
1	他	農業・食品産業技術総合研究機構	11	13,500	7	2	国	東京大学	18	81,500	13
3	国	京都大学	10	34,600	7	3	国	九州大学	17	54,270	14
4	国	東京大学	9	18,600	7	4	国	京都大学	10	31,900	10
5	私	東京農業大学	8	20,200	8	5	国	愛媛大学	9	27,500	6
6	国	千葉大学	7	16,400	4	6	国	筑波大学	8	34,370	7
7	国	神戸大学	6	13,800	5	7	国	神戸大学	7	30,500	10
7	国	帯広畜産大学	6	11,500	5	7	他	農業環境技術研究所	7	14,550	4
9	国	北海道大学	5	16,800	8	7	国	宇都宮大学	7	12,900	7
10	私	近畿大学	4	7,500	3	10	公	大阪府立大学	6	12,500	6
10	公	宮城大学	4	5,200	3	10	国	山形大学	6	11,800	3
10	私	酪農学園大学	4	5,200	3	10	国	岩手大学	6	6,500	7
13	私	明治大学	3	6,700	1	13	私	東京農業大学	5	10,700	4
13	国	鳥取大学	3	6,200	3	13	国	岡山大学	5	10,600	7
13	国	島根大学	3	5,500	4	13	国	三重大学	5	6,800	4
13	国	三重大学	3	5,300	3	16	国	東京農工大学	4	14,500	2
13	国	東北大学	3	5,000	5	16	国	北海道大学	4	12,700	8
13	国	新潟大学	3	4,800	3	16	国	鳥取大学	4	10,700	3
13	国	宇都宮大学	3	4,500	3	16	国	茨城大学	4	6,100	7
13	国	東京農工大学	3	4,200	3	16	国	宮崎大学	4	4,200	3
13	国	岩手大学	3	4,000	3	21	国	新潟大学	3	17,200	4
13	国	筑波大学	3	3,300	2	21	国	琉球大学	3	5,500	3
13	国	茨城大学	3	2,900	3	21	私	日本大学	3	5,300	3
24	他	農林水産省農林水産政策研究所	2	6,300	2	21	国	鹿児島大学	3	4,900	3
24	国	広島大学	2	2,100	3	21	公	宮城大学	3	3,300	3
24	公	大阪府立大学	2	2,100	2	21	国	岐阜大学	3	2,600	3
24	国	福島大学	2	1,800	1	27	他	総合地球環境学研究所	2	11,700	1
24	国	名古屋大学	2	1,800	1	27	私	近畿大学	2	9,300	0
24	国	岐阜大学	2	1,700	2	27	国	千葉大学	2	8,100	3
24	私	九州産業大学	2	1,500	1	27	国	東京工業大学	2	7,300	1
						27	私	明治大学	2	5,800	2
						27	国	高知大学	2	5,700	3
						27	国	帯広畜産大学	2	4,300	2
						27	他	富山県立大学短期大学部	2	3,600	1
						27	国	島根大学	2	3,300	3
						27	国	佐賀大学	2	3,000	3
						27	私	新潟薬科大学	2	2,700	1
						27	他	日本原子力研究開発機構	2	2,400	1
		合計	164	300,700	157			合計	213	553,720	207

表2-9 農学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(4)

金額単位/千円

畜産学・獣医学					境界農学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	北海道大学	51	189,780	49	1	国	京都大学	20	63,250	20
2	国	東京大学	36	173,200	41	2	国	筑波大学	12	54,200	10
3	他	農業・食品産業技術総合研究機構	23	38,470	21	3	国	北海道大学	10	53,900	7
4	国	帯広畜産大学	21	61,600	27	4	国	東京大学	9	71,200	17
4	公	大阪府立大学	21	33,550	13	5	他	農業・食品産業技術総合研究機構	7	18,600	7
6	国	東北大学	19	78,660	23	6	国	奈良先端科学技術大学院大学	6	48,100	5
7	国	鹿児島大学	16	68,100	13	6	国	岩手大学	6	11,750	4
7	国	岩手大学	16	44,300	13	8	国	東京農工大学	5	22,100	5
9	国	岐阜大学	15	40,600	19	8	国	名古屋大学	5	18,500	6
9	国	宮崎大学	15	38,600	14	8	他	農業環境技術研究所	5	13,900	1
9	国	京都大学	15	34,160	10	8	国	三重大学	5	11,100	2
12	国	名古屋大学	13	77,400	10	12	国	九州大学	4	12,800	3
12	私	麻布大学	13	18,560	8	12	国	東北大学	4	10,700	6
14	国	広島大学	12	33,200	11	12	私	日本大学	4	8,600	3
14	私	日本獣医生命科学大学	12	17,010	11	12	国	島根大学	4	6,800	4
16	国	鳥取大学	11	22,070	12	16	私	近畿大学	3	24,000	1
16	国	山口大学	11	19,300	12	16	国	愛媛大学	3	14,400	3
18	私	北里大学	10	17,790	14	16	他	理化学研究所	3	12,760	1
19	国	東京農工大学	9	31,000	11	16	国	千葉大学	3	10,400	1
20	他	理化学研究所	8	20,970	9	16	国	大阪大学	3	10,100	1
20	国	信州大学	8	14,000	5	16	公	大阪府立大学	3	7,850	3
22	国	岡山大学	7	16,500	6	16	国	鹿児島大学	3	4,200	2
22	私	日本大学	7	11,700	9	16	公	京都府立大学	3	3,900	2
24	国	九州大学	6	24,000	8	16	国	岡山大学	3	3,100	4
24	私	酪農学園大学	6	14,600	7	25	国	神戸大学	2	13,000	1
26	国	神戸大学	5	9,500	4	25	国	大阪教育大学	2	12,000	1
26	他	農業生物資源研究所	5	8,300	8	25	国	鳥取大学	2	7,700	2
28	国	琉球大学	4	6,600	3	25	国	横浜国立大学	2	5,600	1
28	私	近畿大学	4	6,000	3	25	国	高知大学	2	5,500	1
30	私	東京農業大学	3	19,900	3	25	国	山形大学	2	3,500	1
30	国	茨城大学	3	10,600	2	25	国	宮崎大学	2	3,000	2
30	国	宇都宮大学	3	7,900	3	25	国	金沢大学	2	2,900	2
30	他	国立医薬品食品衛生研究所	3	7,400	2	25	他	森林総合研究所	2	1,900	2
30	私	明治大学	3	6,500	3						
30	国	弘前大学	3	5,600	3						
30	国	静岡大学	3	3,800	3						
		合計	454	1,292,390	441			合計	188	647,570	176

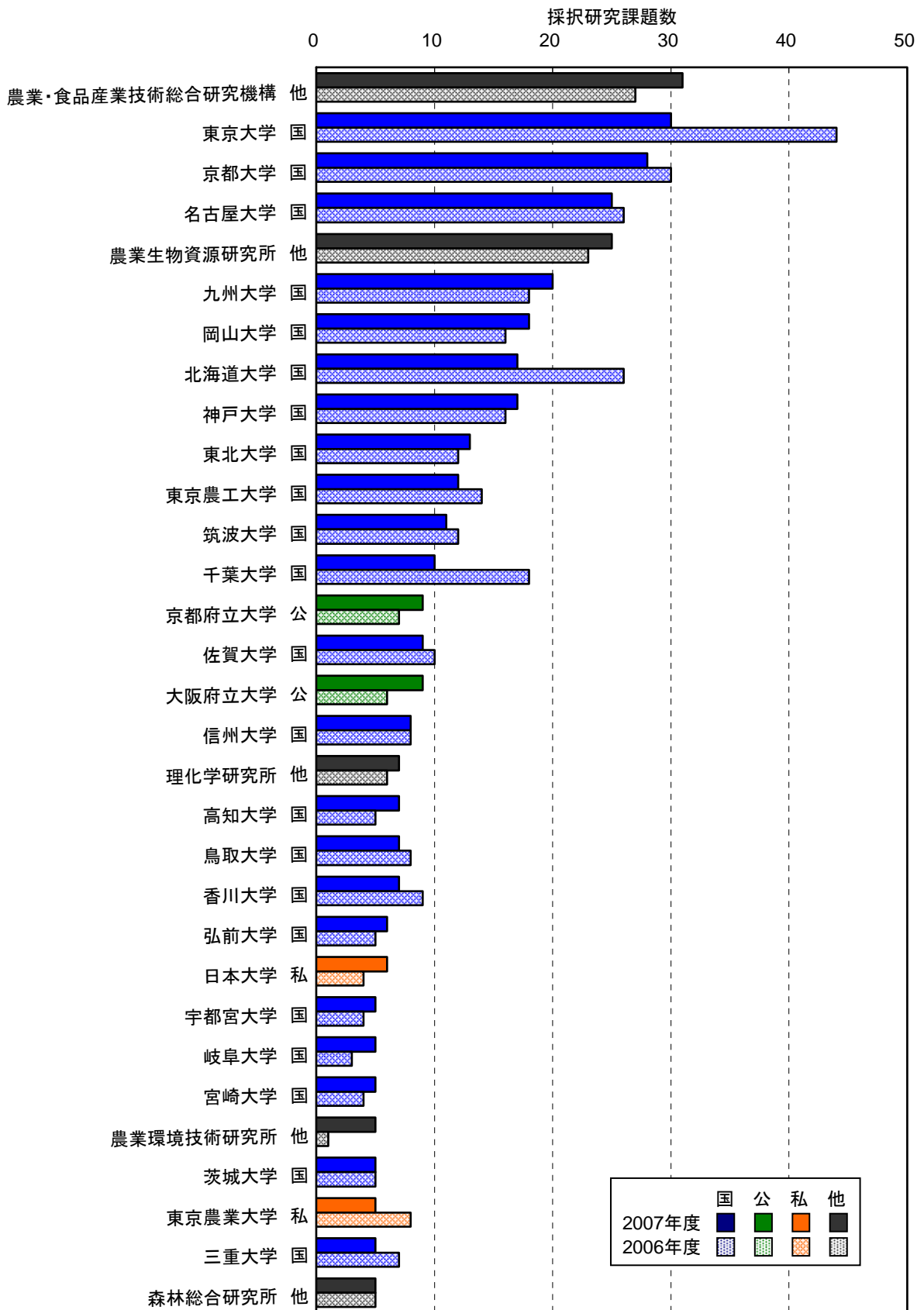


図2-10 農学 採択研究課題数上位30位(2007年度)

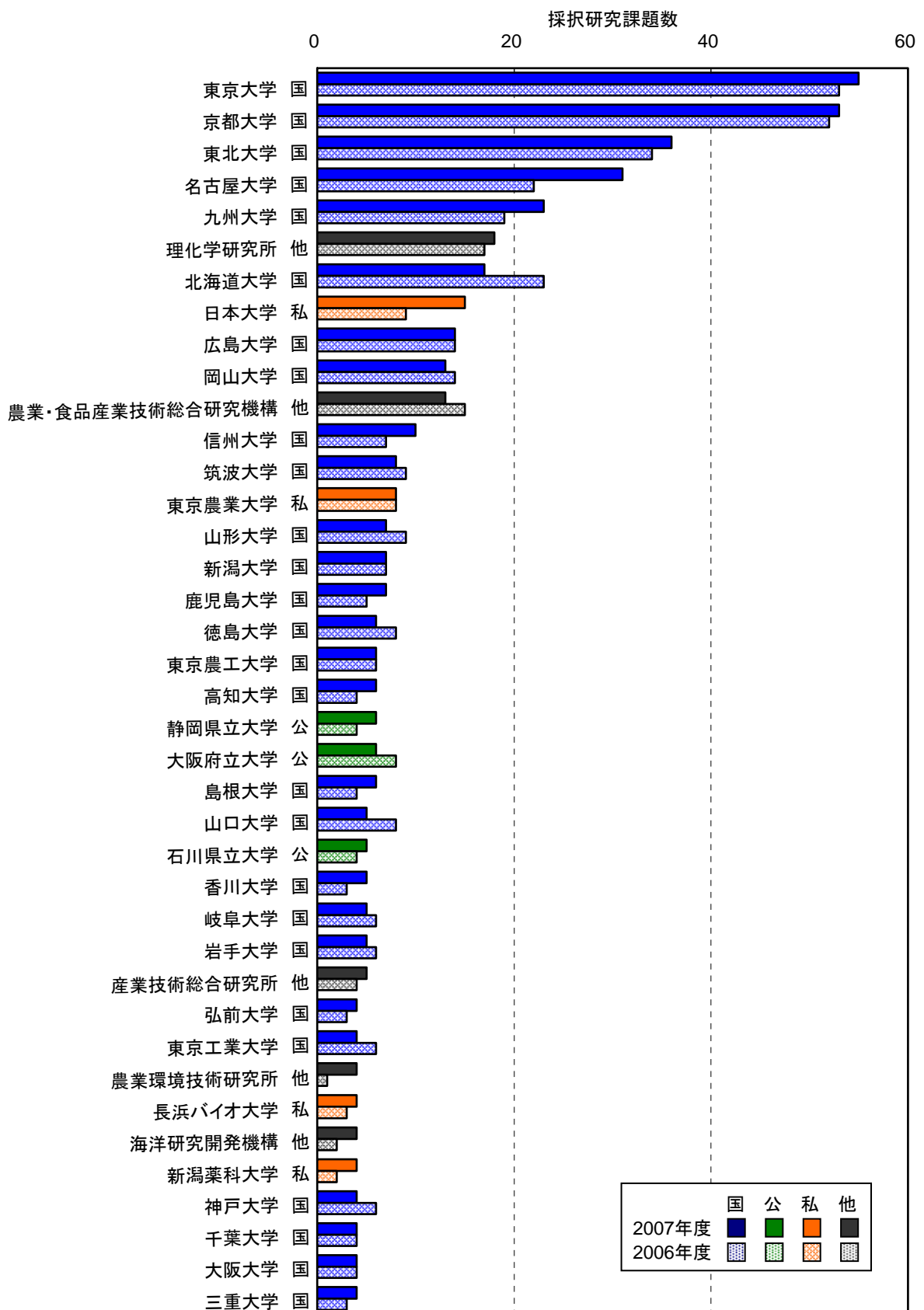


図 2 - 1 1 農芸化学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

採択研究課題数

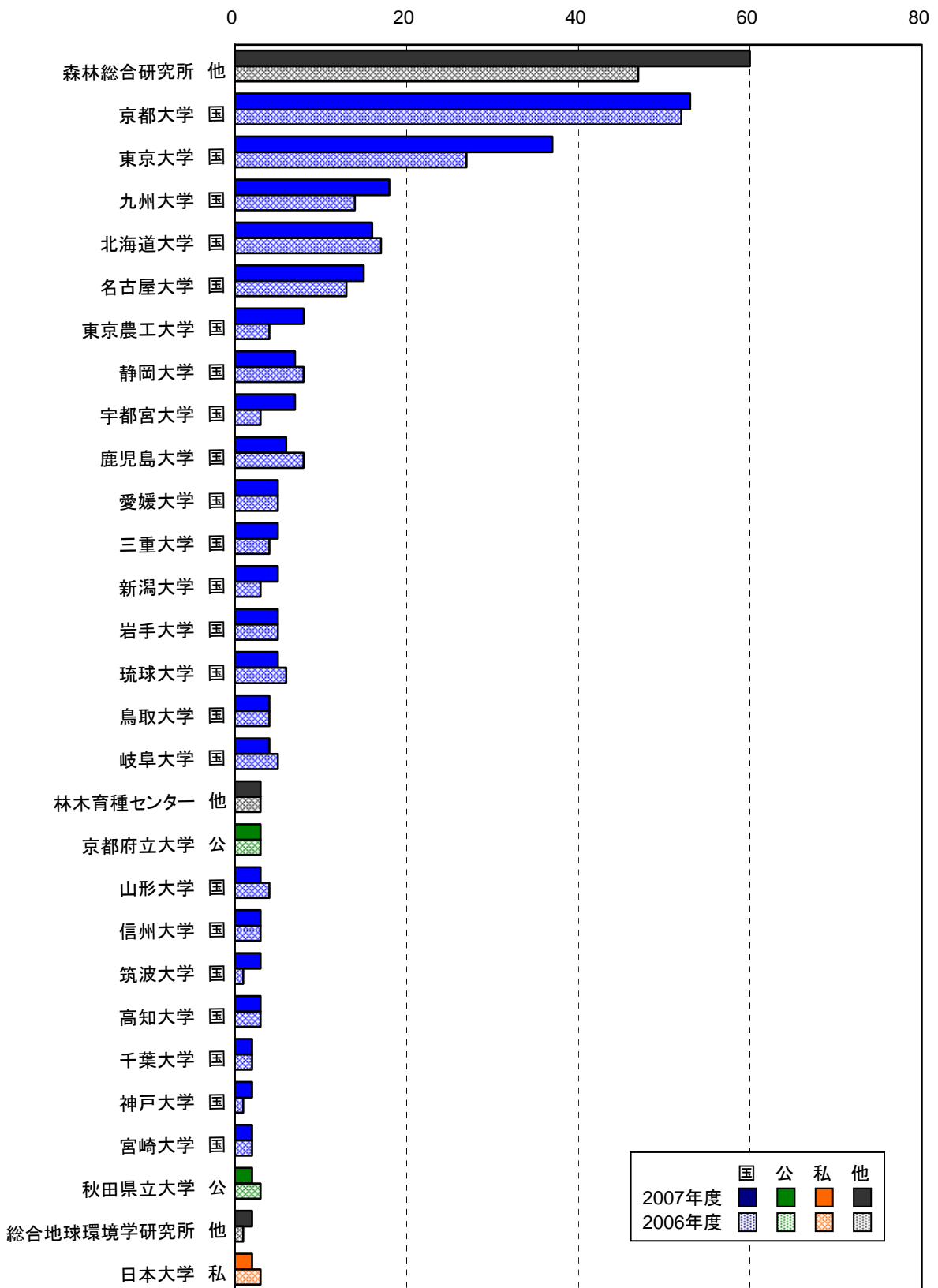


図2-12 林学 採択研究課題数上位30位(2007年度)

採択研究課題数

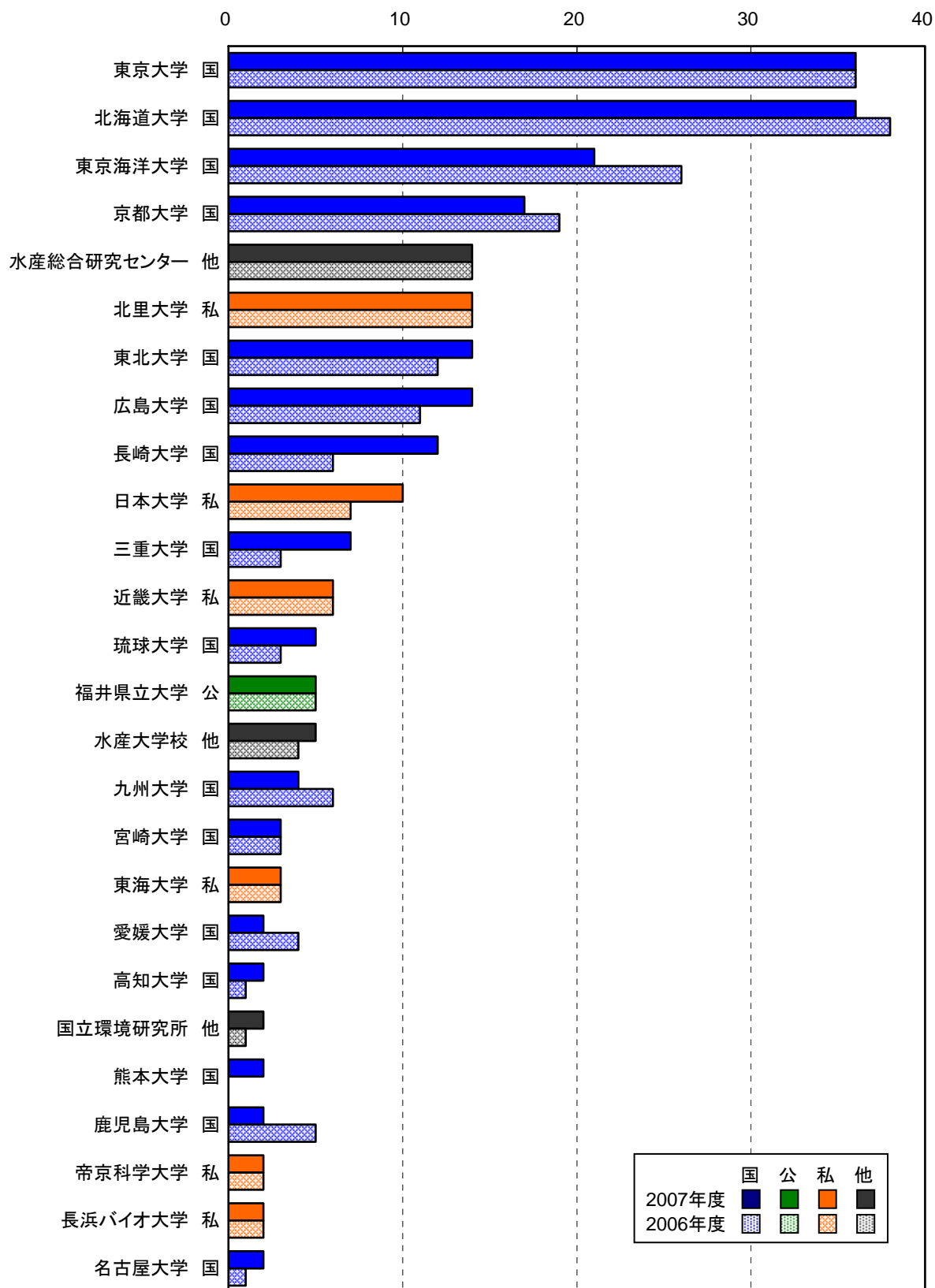


図2-13 水産学 採択研究課題数上位30位 (2007年度)

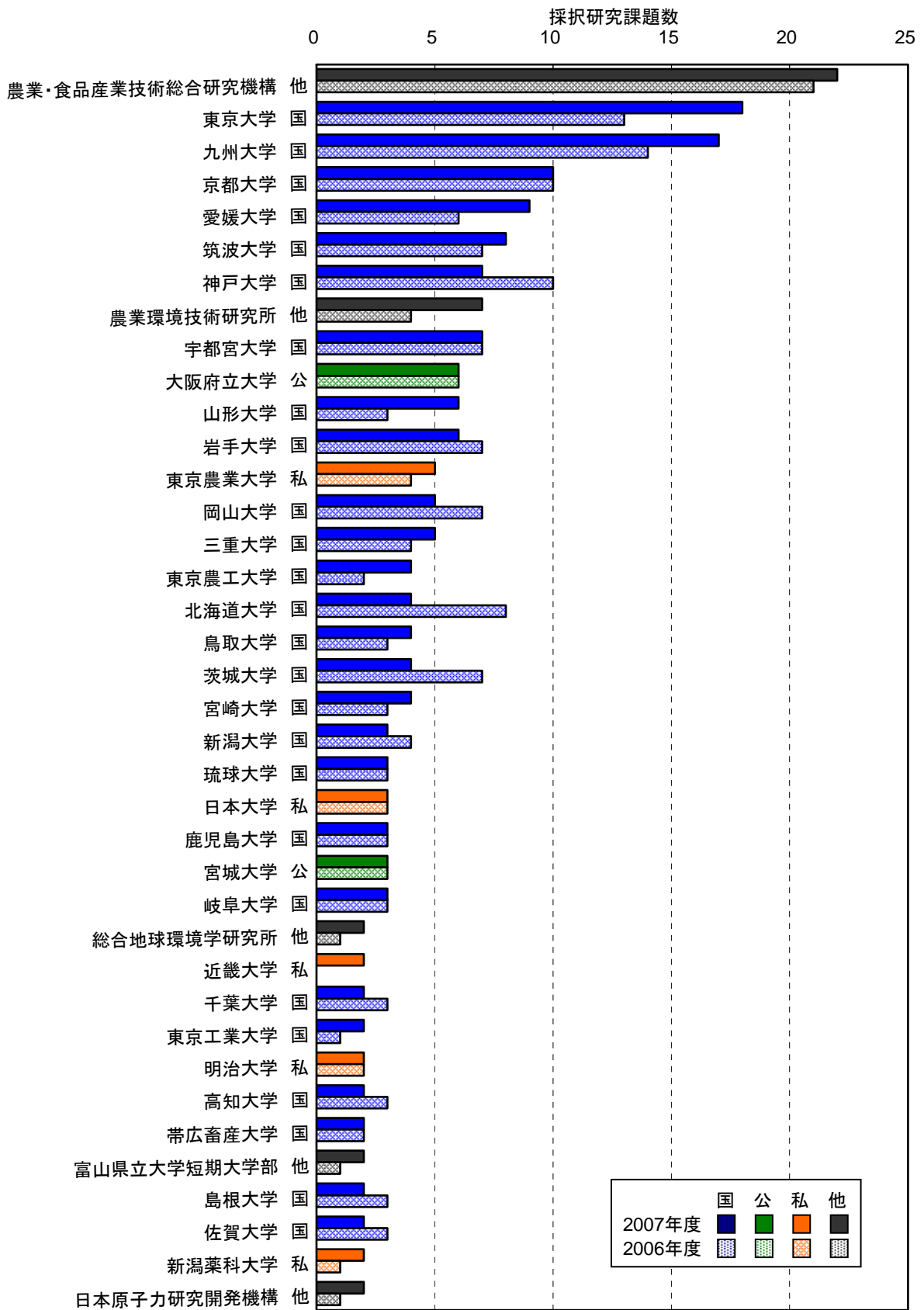


図 2 - 1 4 農業工学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

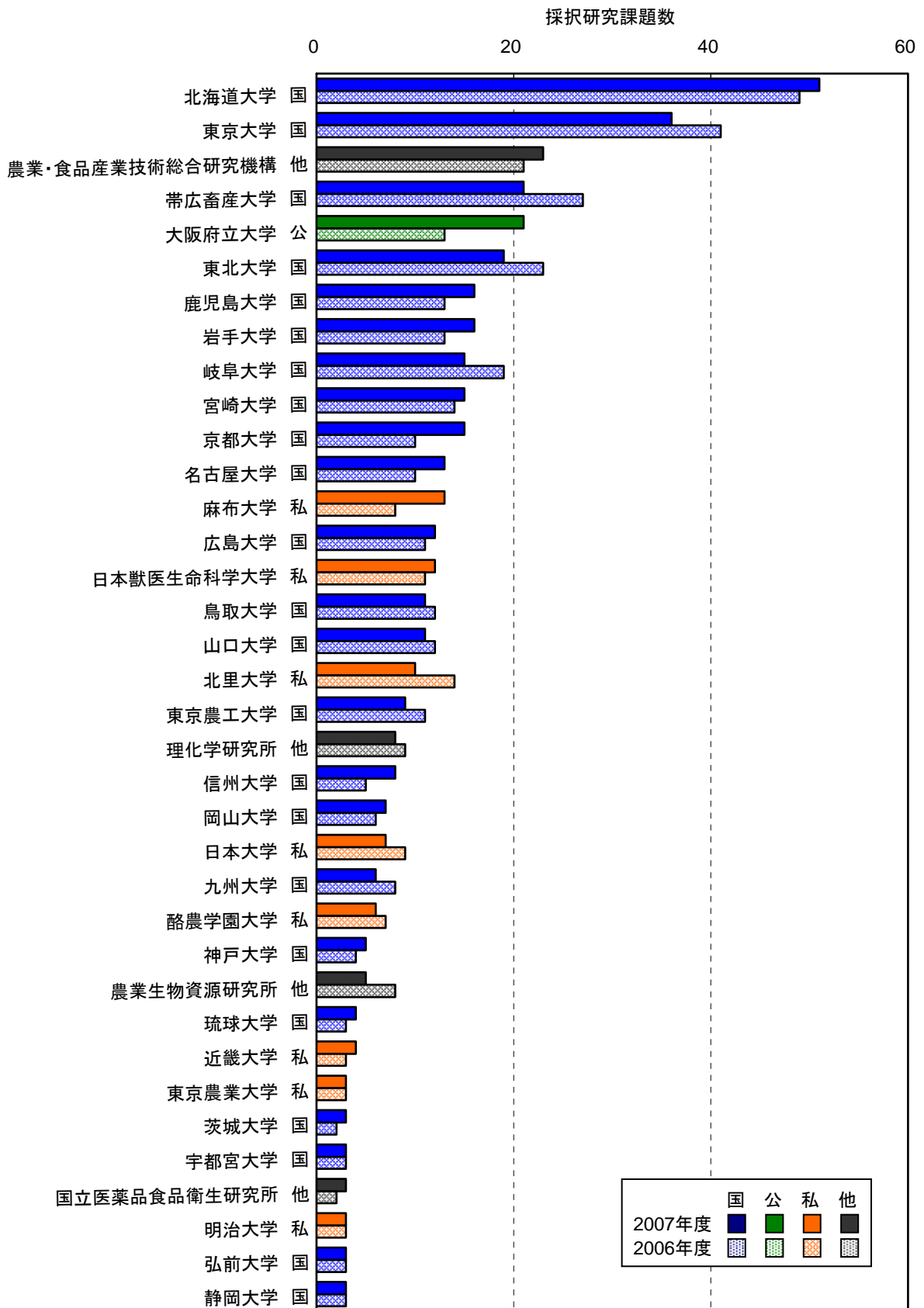


図2-15 畜産学・獣医学 採択研究課題数上位30位(2007年度)

2-3 医歯薬学

分野：医歯薬学の中の薬学、基礎医学、境界医学、社会医学、内科系臨床医学、外科系臨床医学、歯学、看護学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-16の円グラフに示す。

図2-16から明らかなように、分科：内科系臨床医学、外科系臨床医学のように「分野」規模の「分科」がある一方で、分科：境界医学、社会医学のように「細目」規模の「分科」もある。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

前年度と比較すると、分野：医歯薬学では採択研究課題数が4.0%しか伸びていないが、分野：医歯薬学の中で、最も採択研究課題数が増えたのは、分科：看護学であり、15.3%伸びている。これに対して、規模の大きい分科：外科系臨床医学の伸び率は2.9%、内科系臨床医学の伸び率は1.7%であり、各「分科」の割合は、看護学が7.5%から8.3%に大きくなったほかは、多少の増減はあるものの大きな変化はない。

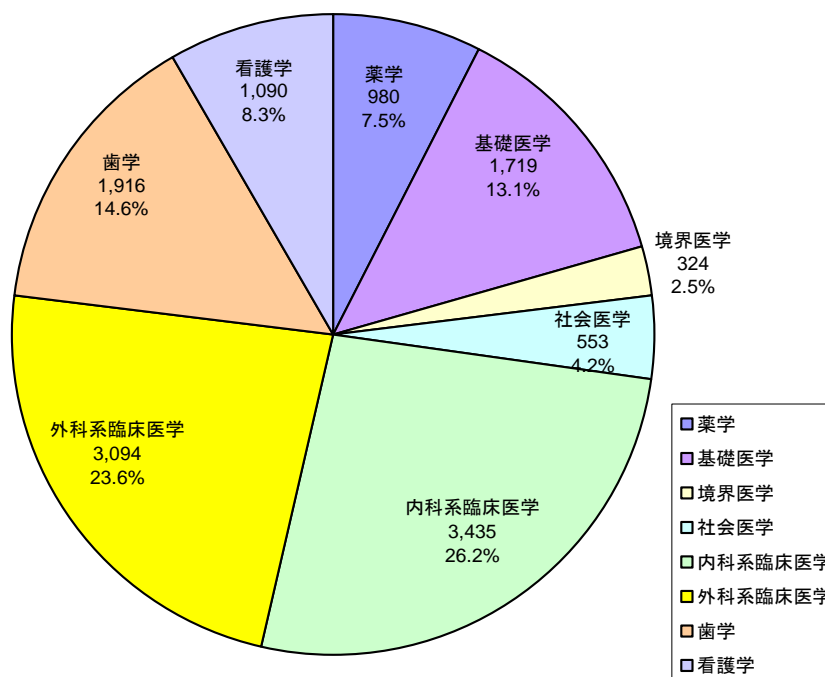


図2-16 2007年度の医歯薬学「分科」別採択研究課題数

以下、薬学、基礎医学、境界医学、社会医学、内科系臨床医学、外科系臨床医学、歯学、看護学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-10～2-13に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-17～2-23に示す。ただし、分科：境界医学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：薬学では上位に東京大学、京都大学など国立大学が並ぶ状況に変化はないものの、10位以降に公立、私立の薬科単科大学が多く現れることが特徴である。

分科：基礎医学では、上位の機関が採択研究課題数を伸ばし、東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学、東北大学、理化学研究所の順位に変動はない。7位に長崎大学が躍進し、慶應義塾大学も採択

研究課題数を9件増やして21位から同数11位に上昇しているが、筑波大学は採択研究課題数を10件減らし、同数12位から同数21位に後退している。

分科：境界医学、社会医学は採択研究課題数が少ないため、順位を議論することが難しい。

分科：内科系臨床医学では、前年度3位の慶應義塾大学が採択研究課題数を16件減らして5位に後退し、名古屋大学は採択研究課題数を16件増やして9位から7位に、京都府立医科大学も採択研究課題数を17件増やして同数18位から9位に上昇している。20位以下には国立、公立、私立の医科単科大学が並んでいる。

分科：外科系臨床医学では、東京大学が1位から3位に後退し、慶應義塾大学が4位から1位に、大阪大学が3位から2位に上昇している。名古屋大学が16位から同数10位に、日本医科大学が15位から同数12位に、金沢大学も17位から14位と順位を上げ健闘している。

分科：歯学では、東京医科歯科大学が1位から3位に後退し、東北大学が採択研究課題数を25件増やして5位から1位に躍り出ている。新潟大学が採択研究課題数を15件減らして3位から同数7位に後退している。この「分科」でも10位以降には私立、公立の歯科単科大学が続いている。

2007年度も採択研究課題数が大幅に伸びた分科：看護学は、聖路加看護大学が大阪府立大学を抜いて1位になっている。一方で首都大学東京が同数5位から同数14位に後退しているが、採択研究課題数では大幅な変化はない。15位以下に公立、私立の大学が多く顔を出すのが、この「分科」の特徴であることに変わりはない。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。

表2-1 1 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(2)

金額単位/千円

境界医学					社会医学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	27	85,380	22	1	国	東北大学	18	55,100	15
2	国	東京大学	13	26,300	11	2	国	東京大学	17	29,300	18
3	国	大阪大学	12	15,400	12	3	国	名古屋大学	15	38,220	17
4	国	長崎大学	10	23,880	7	4	国	京都大学	14	45,420	11
4	国	名古屋大学	10	15,600	8	5	私	産業医科大学	12	19,170	14
6	国	東北大学	9	18,700	12	6	国	三重大学	11	40,300	10
6	国	岡山大学	9	18,000	7	7	国	九州大学	10	38,300	9
8	国	熊本大学	8	14,540	5	7	国	筑波大学	10	23,800	12
9	私	福岡大学	7	11,290	10	7	他	大阪府立公衆衛生研究所	10	17,100	12
9	国	信州大学	7	7,300	8	7	国	長崎大学	10	16,200	11
11	国	千葉大学	6	17,000	3	11	公	京都府立医科大学	9	28,640	7
11	国	鹿児島大学	6	16,700	4	12	国	佐賀大学	8	32,500	9
11	国	広島大学	6	10,400	5	12	国	滋賀医科大学	8	26,900	8
11	私	日本大学	6	7,400	6	12	公	和歌山県立医科大学	8	24,100	8
15	公	札幌医科大学	5	16,700	4	12	国	金沢大学	8	22,900	7
15	国	筑波大学	5	9,400	6	12	公	大阪市立大学	8	16,910	7
15	他	国立感染症研究所	5	8,200	1	12	公	札幌医科大学	8	15,900	7
15	国	東京医科歯科大学	5	8,000	3	18	国	大阪大学	7	23,700	5
15	私	東邦大学	5	5,900	2	18	国	群馬大学	7	22,700	4
20	国	北海道大学	4	15,690	4	18	国	北海道大学	7	22,400	8
20	私	慶應義塾大学	4	12,400	3	18	他	国立環境研究所	7	17,600	5
20	国	浜松医科大学	4	7,600	6	18	国	東京医科歯科大学	7	17,100	6
20	公	京都府立医科大学	4	5,390	5	18	私	久留米大学	7	12,900	4
20	私	自治医科大学	4	5,200	3	24	私	慶應義塾大学	6	16,100	6
20	私	聖マリアンナ医科大学	4	4,700	3	24	私	川崎医科大学	6	15,120	4
20	私	昭和大学	4	3,500	4	24	私	金沢医科大学	6	13,900	4
27	国	九州大学	3	23,700	6	24	私	自治医科大学	6	13,700	9
27	私	北里大学	3	16,700	2	24	国	秋田大学	6	12,000	8
27	国	岐阜大学	3	15,200	4	24	国	山口大学	6	10,900	6
27	国	神戸大学	3	10,100	2	24	国	鹿児島大学	6	9,500	5
27	国	三重大学	3	7,100	3	24	私	岩手医科大学	6	9,300	6
27	国	滋賀医科大学	3	5,800	3	24	私	北里大学	6	9,300	6
27	私	関西医科大学	3	5,400	2	24	他	科学警察研究所	6	6,900	4
27	国	山口大学	3	5,000	3	24	国	浜松医科大学	6	6,200	4
27	国	徳島大学	3	5,000	3						
27	私	京都薬科大学	3	4,800	4						
27	他	東京都医学研究機構	3	4,700	3						
27	国	福井大学	3	4,000	3						
27	私	獨協医科大学	3	4,000	2						
27	公	大阪市立大学	3	3,900	2						
27	国	弘前大学	3	2,900	4						
		合計	324	709,000	307			合計	553	1,257,080	534

表2-12 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(3)

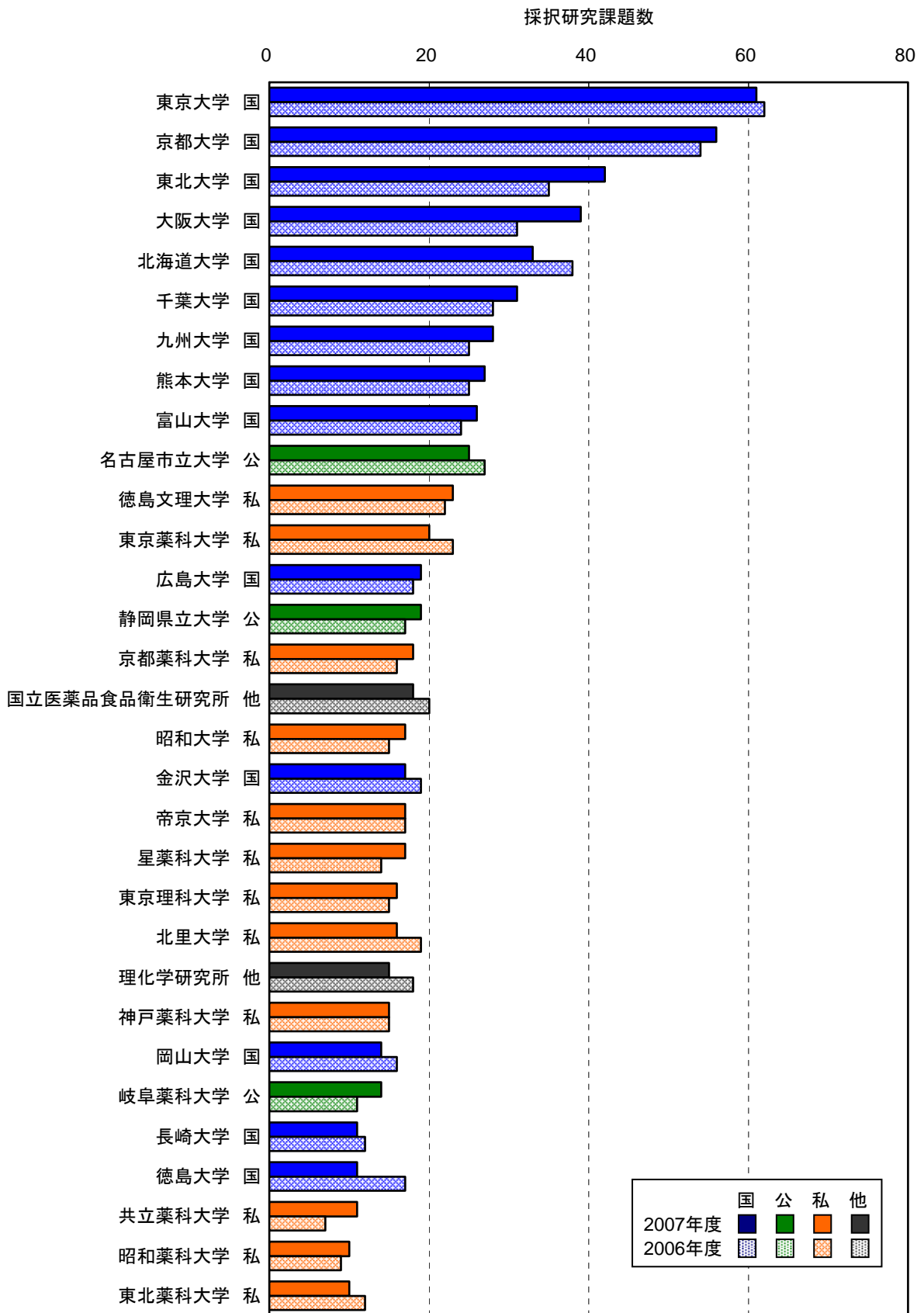
金額単位/千円

内科系臨床医学					外科系臨床医学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	173	516,960	170	1	私	慶應義塾大学	116	247,600	105
2	国	京都大学	142	355,060	138	2	国	大阪大学	115	349,740	106
3	国	東北大学	137	360,410	131	3	国	東京大学	112	332,460	114
4	国	九州大学	126	275,060	122	4	国	九州大学	104	264,650	102
5	私	慶應義塾大学	119	266,220	135	5	国	京都大学	103	311,100	107
6	国	大阪大学	106	283,950	100	6	国	東北大学	93	206,260	88
7	国	名古屋大学	80	236,550	64	7	公	京都府立医科大学	74	153,760	70
8	国	北海道大学	70	183,850	68	8	国	岡山大学	72	144,220	77
9	公	京都府立医科大学	68	122,620	51	9	公	名古屋市立大学	70	145,900	63
10	国	神戸大学	66	142,030	59	10	国	北海道大学	63	164,490	65
11	国	東京医科歯科大学	65	207,580	70	10	国	名古屋大学	63	141,600	52
11	国	金沢大学	65	149,620	60	12	国	東京医科歯科大学	62	151,250	55
13	国	徳島大学	62	137,000	58	12	私	日本医科大学	62	90,600	53
14	国	群馬大学	58	119,770	58	14	国	金沢大学	60	121,330	51
14	国	熊本大学	58	105,910	58	15	国	千葉大学	59	130,580	65
16	私	久留米大学	57	96,200	59	16	国	群馬大学	57	86,460	56
17	国	新潟大学	49	90,100	51	17	公	和歌山県立医科大学	55	88,500	46
18	国	千葉大学	47	124,830	53	18	国	熊本大学	52	139,010	41
19	国	筑波大学	45	113,930	41	19	国	山口大学	51	103,300	54
19	国	長崎大学	45	82,930	42	20	国	神戸大学	48	76,500	50
21	私	順天堂大学	44	81,150	47	21	公	札幌医科大学	47	103,600	33
21	国	岡山大学	44	68,100	52	22	国	筑波大学	46	110,650	39
23	公	札幌医科大学	43	138,200	47	23	公	奈良県立医科大学	43	75,980	36
24	私	自治医科大学	40	76,280	43	24	公	横浜市立大学	41	79,630	43
25	国	福井大学	39	71,500	32	25	国	秋田大学	40	84,000	41
26	公	横浜市立大学	37	73,220	34	25	国	愛媛大学	40	57,660	35
27	私	日本医科大学	36	50,300	41	27	国	広島大学	39	101,960	38
28	国	浜松医科大学	35	94,290	37	28	国	信州大学	37	74,400	34
28	私	産業医科大学	35	63,440	35	29	国	徳島大学	35	71,400	41
28	公	大阪市立大学	35	48,600	32	29	国	浜松医科大学	35	58,300	37
合計			3,435	7,380,976	3,376	合計			3,094	6,529,444	3,008

表2-13 医歯薬学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(4)

金額単位/千円

歯学					看護学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東北大学	123	239,210	98	1	私	聖路加看護大学	38	90,430	31
2	国	大阪大学	118	362,570	107	2	公	大阪府立大学	32	49,800	34
3	国	東京医科歯科大学	117	263,310	117	3	国	千葉大学	31	29,510	28
4	国	岡山大学	103	243,850	100	4	公	兵庫県立大学	29	55,090	27
5	国	広島大学	95	205,670	89	5	国	金沢大学	21	34,700	17
6	私	日本大学	88	145,920	81	5	公	福岡県立大学	21	19,500	17
7	国	九州大学	86	233,300	83	7	公	埼玉県立大学	20	28,744	16
7	国	新潟大学	86	173,100	101	8	国	神戸大学	18	22,400	15
9	私	昭和大学	75	135,390	74	8	国	群馬大学	18	16,240	19
10	国	徳島大学	72	168,110	79	10	国	筑波大学	17	34,000	16
11	国	北海道大学	67	133,020	79	10	国	大阪大学	17	28,310	15
12	国	長崎大学	61	118,700	64	10	国	山口大学	17	20,660	14
13	私	松本歯科大学	58	113,180	55	10	公	高知女子大学	17	19,300	17
14	国	鹿児島大学	56	120,250	48	14	国	京都大学	15	25,730	10
15	私	東京歯科大学	54	92,780	63	14	公	首都大学東京	15	15,900	19
16	私	日本歯科大学	50	70,570	56	14	国	福井大学	15	13,990	13
17	公	九州歯科大学	45	74,570	45	17	国	東京大学	14	36,650	15
18	私	神奈川歯科大学	43	77,050	41	17	国	名古屋大学	14	20,240	10
18	私	福岡歯科大学	43	66,330	43	17	国	岡山大学	14	12,260	17
20	私	愛知学院大学	42	70,300	44	20	国	広島大学	13	22,000	15
21	私	北海道医療大学	40	56,600	39	20	公	石川県立看護大学	13	18,400	13
22	私	大阪歯科大学	39	62,600	29	20	国	岐阜大学	13	11,670	10
23	私	鶴見大学	34	80,690	34	20	私	北里大学	13	10,180	10
24	国	東京大学	29	98,880	22	20	国	東北大学	13	9,850	11
25	私	明海大学	24	39,200	27	20	公	新潟県立看護大学	13	8,292	10
26	私	岩手医科大学	23	48,940	23	26	公	名古屋市立大学	12	13,000	12
27	私	朝日大学	22	29,400	21	26	私	北海道医療大学	12	10,230	10
28	国	名古屋大学	17	22,420	16	26	国	浜松医科大学	12	9,660	8
29	私	奥羽大学	12	14,320	11	26	国	山形大学	12	9,610	12
30	国	金沢大学	10	15,120	6	30	国	東京医科歯科大学	11	22,700	10
						30	私	日本赤十字看護大学	11	21,900	10
						30	公	横浜市立大学	11	11,000	7
						30	国	佐賀大学	11	10,500	12
						30	国	北海道大学	11	9,830	9
						30	国	三重大学	11	8,700	7
合計			1,916	3,930,560	1,865	合計			1,090	1,397,257	945



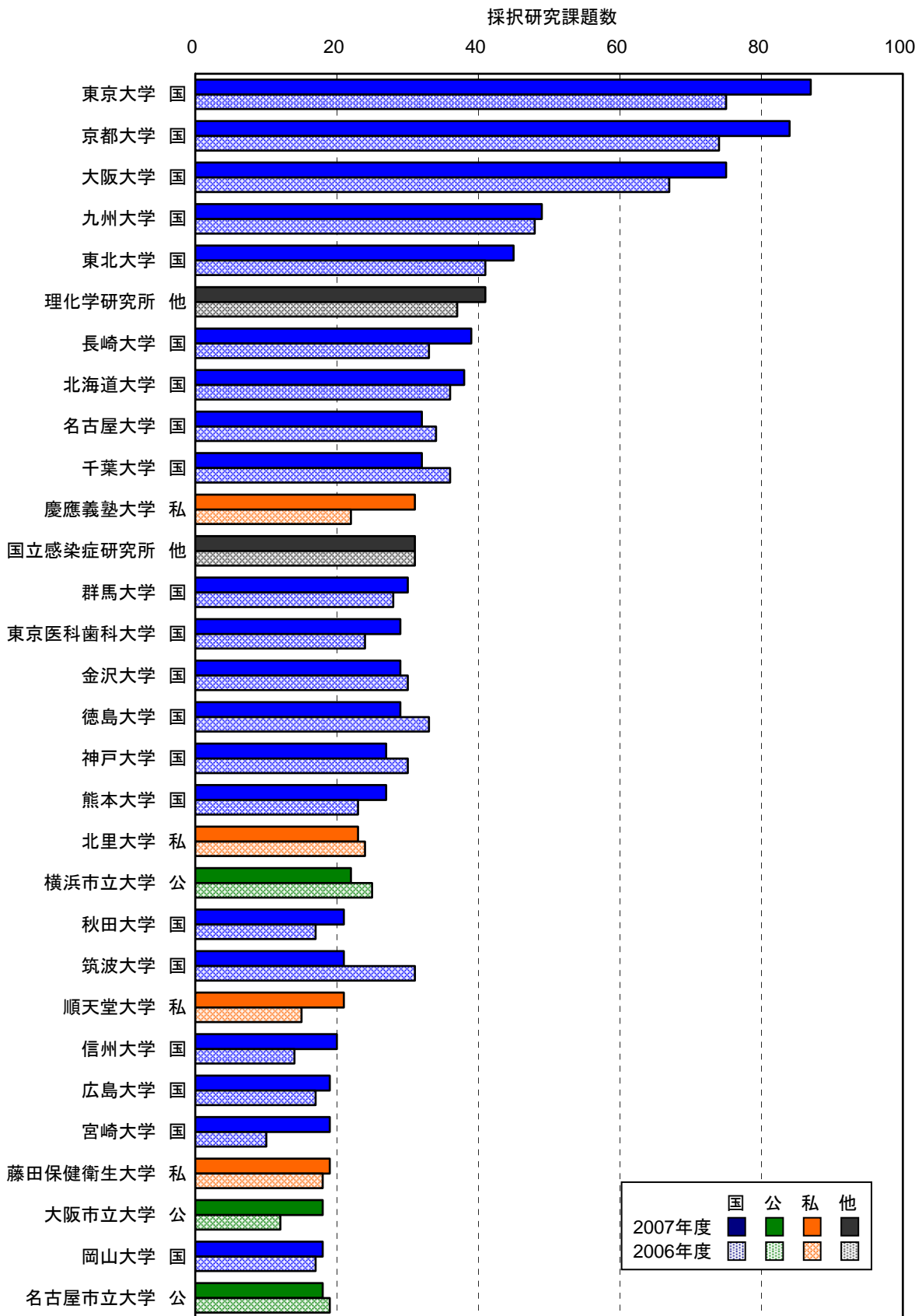


図2-18 基礎医学 採択研究課題数上位30位(2007年度)

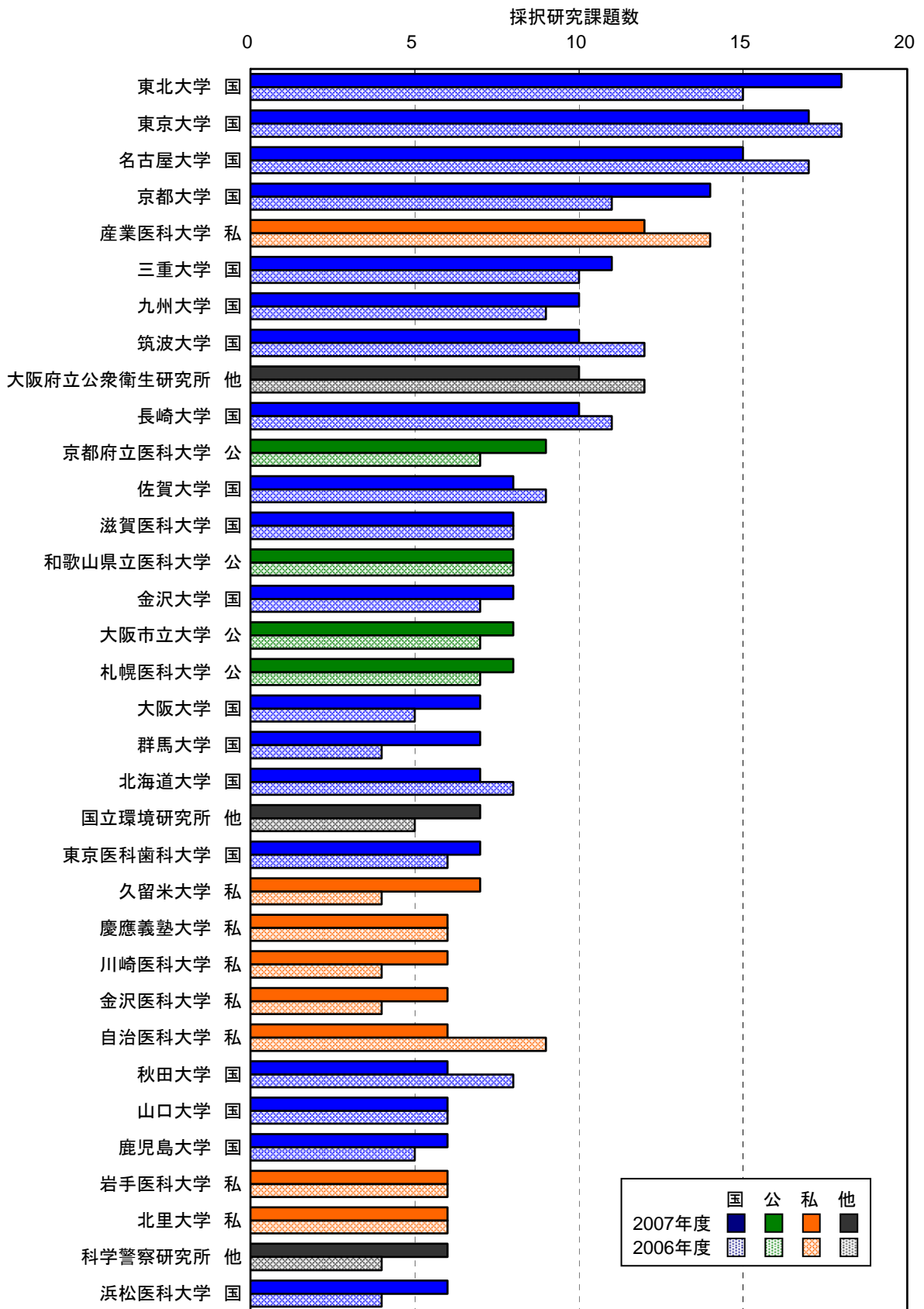
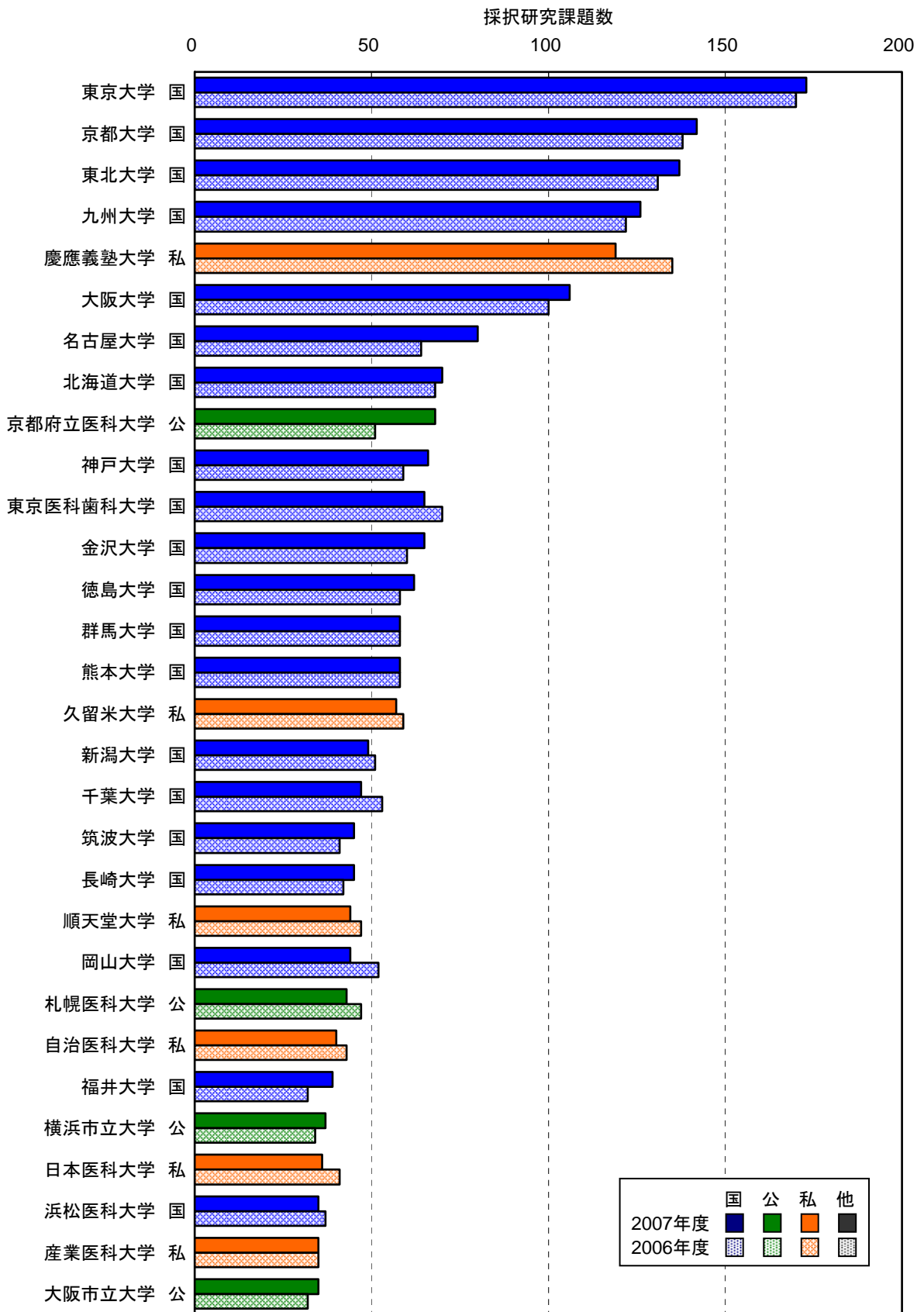
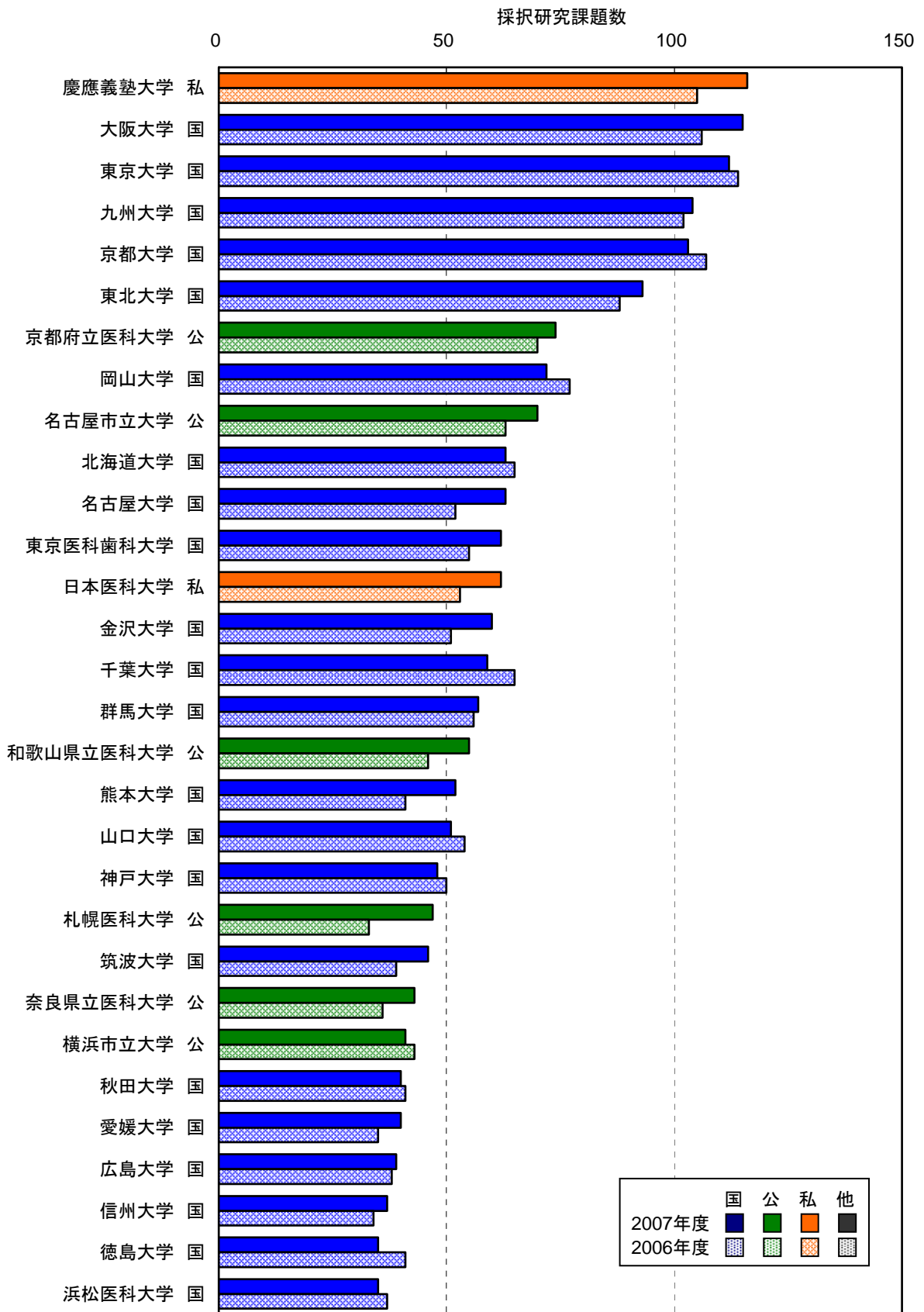


図 2 - 1 9 社会医学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)





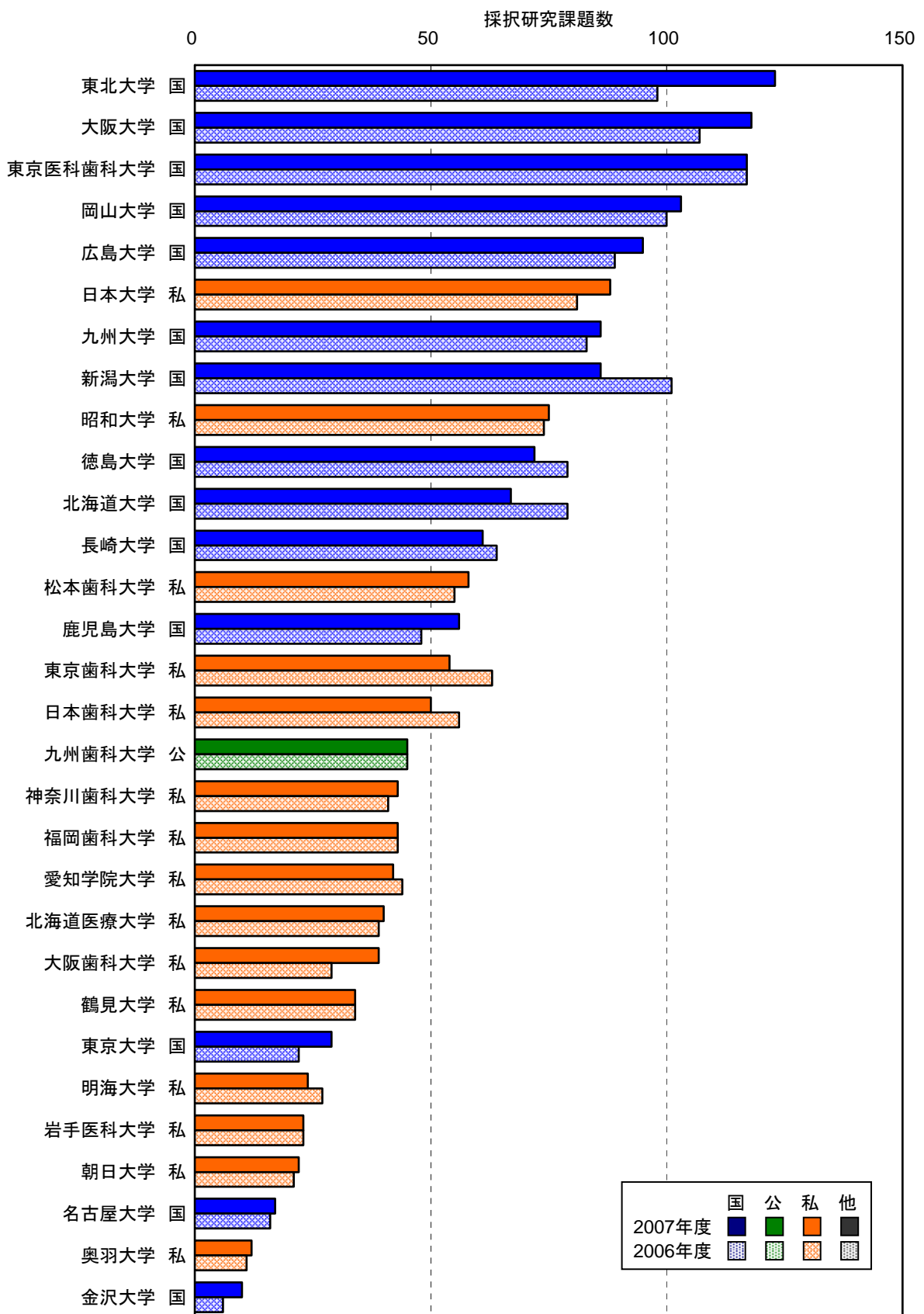


図 2 - 2 2 歯学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

